

令和6年度使用小学校用教科用図書
調査研究資料
(報告書)

| | | |
|------|---|------|
| 国語 | 語 | P 1 |
| 書写 | 写 | P 5 |
| 社会 | 会 | P 9 |
| 図画 | 図 | P 13 |
| 算数 | 数 | P 16 |
| 理科 | 科 | P 23 |
| 生活 | 活 | P 29 |
| 音楽 | 楽 | P 36 |
| 図画工作 | 作 | P 39 |
| 家庭 | 庭 | P 42 |
| 保健 | 健 | P 45 |
| 英語 | 語 | P 53 |
| 道徳 | 徳 | P 60 |

鹿沼市立小中学校教科用図書調査員会

取扱注意

令和6年度使用小学校用教科用図書

調査研究資料

(報 告 書)

国 語

鹿沼市立小中学校教科用図書調査員会

令和6年度使用（小学校）教科用図書調査研究報告書

| 教科用図書の記号・番号・名称 | | | | | | 発行者名 |
|--------------------------------|---|-----------------------------|-----------------------------|------------------|------------------|------|
| 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 東京書籍 |
| 国語109 110 あたらしいこくご 一上・一下 | 国語209 210 新しい国語 二上・二下 | 国語309 310 新しい国語 三上・三下 | 国語409 410 新しい国語 四上・四下 | 国語509 新しい国語 五 | 国語609 新しい国語 六 | |
| 観 点 | 調 査 の 結 果 | | | | | |
| 1 内容について | <ul style="list-style-type: none"> ・ 単元ごとに学習を通じて育成する資質・能力を「言葉の力」として明確化し、既習事項を想起しながら、見通しをもって螺旋的・反復的に学習を積み重ねられるように工夫されている。また、重点指導事項に即した具体的な言語活動が行えるよう提示されている。 ・ 読書単元として、図書館の活用、図書紹介、読書活動が年間を通して各学年に示されており、多様な読書活動に親しめるよう工夫されている。また、本の紹介に著名人の読書体験を紹介している。 ・ 各単元に、「学習の流れ」を示して「見通す」、「取り組む」、「ふり返る」過程を設けることで、主体的に学習に取り組む態度が育まれるよう工夫されている。 | | | | | |
| 2 程度・選択・取扱について | <ul style="list-style-type: none"> ・ 「言葉相談室」という小単元で、各学年で児童がつまずきやすい事項を精選して取り組めるよう工夫されている。特に、1年生の言葉の学習では、「多層指導モデルMIM」の指導法を踏まえ、記号や手の動きを視覚化し、言葉の力の土台を身に付けられるように配慮している。 ・ 巻末には「言葉の広場」で、テーマに合わせた言葉が提示されており、語彙を増やしたり豊かにしたりすることにつながるよう配慮されている。 ・ 児童の興味・関心や発達の段階に合わせた適切な教材を取り上げている。児童の関心を引くような、写真やイラストが配置され、理解の一助にもなっている。 | | | | | |
| 3 組織・配列等について | <ul style="list-style-type: none"> ・ 他教科等の学習や、実生活に活用できる教材や題材が、「話す・聞く」、「書く」、「読む」の内容ごとに整理されて取り上げられている。単元の振り返りには、身に付けた「言葉の力」を提示して児童が振り返りをするとともに、視点を示し他教科や日常生活に生かされるようにしている。 ・ 「情報のとびら」では、「読むこと（説明文）」での学びを「書くこと」の学習につなげられるよう、「読むこと（説明文）」、「情報のとびら」、「書くこと」の順序で学習を進められるようにしている。 | | | | | |

令和6年度使用（小学校）教科用図書調査研究報告書

| | | | | | | 種目 | 国語 |
|---|---|----------------------------------|----------------------------------|----------------------------------|----------------------------------|--------------|----|
| 教科用図書の記号・番号・名称 | | | | | | 発行者名 | |
| 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 教育出版 株式会社 | |
| 国語111 112 ひろがることば しょうがくこくご 一上・一下 | 国語211 212 ひろがることば 小学国語 二上・二下 | 国語311 312 ひろがる言葉 小学国語三上・三下 | 国語411 412 ひろがる言葉 小学国語四上・四下 | 国語511 512 ひろがる言葉 小学国語五上、五下 | 国語611 612 ひろがる言葉 小学国語六上・六下 | | |
| 観 点 | 調 査 の 結 果 | | | | | | |
| 1 内容について | <ul style="list-style-type: none"> ・平仮名の学習において、小学校入学の時点で平仮名が書ける児童が多いことを想定した導入になっている。 ・名称にもある、「ひろがることば」の通り、段階的に語彙の拡充を意識した内容になっている。 ・全学年に図書紹介があり、読書に親しむ工夫がされている。 ・学年の始めに、楽しいゲームを通して学べる内容があることで、国語への意欲を高める工夫がされている。 | | | | | | |
| 2 程度・選択・ 取扱について | <ul style="list-style-type: none"> ・二次元コード「まなびリンク」によって教科書外の新しい情報を得られるようにしており、発展的な学習ができるようになっている。 ・「読むこと」における教材の後に、「話すこと・聞くこと」の教材があり、関連付けて学べるよう、工夫されている。 ・巻末の付録においては、語彙の数を増やしたり、深く理解したりするための資料が多く載っており、興味・関心に応じて主体的に学べるような工夫がされている。 | | | | | | |
| 3 組織・配列等 について | <ul style="list-style-type: none"> ・身近な話題や、生き物を取り上げることによって、児童の興味・関心を高める工夫がされている。 ・巻末にある「言葉の木」では、各学年の発達段階に応じて、語彙を広げられるような工夫がされている。 ・日常生活や学校生活に関連した題材を設定することにより、児童の実生活に結びついた活動になるよう工夫されている。 | | | | | | |

| | | | | | | 種目 | 国語 |
|----------------------------------|---|--------------------------------|---------------------------------|------------------|------------------|------------|----|
| 教科用図書の記号・番号・名称 | | | | | | 発行者名 | |
| 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 光村図書出版株式会社 | |
| 国語113・114 かざぐるま・ともだち 一上・一下 | 国語213・214 たんぼぼ・赤とんぼ 二上・二下 | 国語313・314 わかば・あおぞら 三上・三下 | 国語413・414 かがやき・はばたき 四上・四下 | 国語513 銀河 五 | 国語613 創造 六 | | |
| 観 点 | 調 査 の 結 果 | | | | | | |
| 1 内容について | <ul style="list-style-type: none"> ・理解力と表現力の育成として、「書くこと」の教材では、説明的な文章で学んだ内容を活用して表現する活動が示されており、必要な情報を整理し、伝えたいことが明確に表現できるよう工夫されている。 ・伝え合う力の育成として、「話すこと・聞くこと」の単元では、学校生活に関する身近な話題が取り上げられており、手順や具体例に沿って自分の思いや考えを効果的に伝えることができるよう工夫されている。また、対話のスキルが学べる「対話の練習」が設けられている。 ・思考力や想像力の育成として、「読むこと」における文学的な文章の教材では、着目する言葉が具体的に示されており、人物像や物語の全体像を整理したり、表現の効果について考えたりすることを通して、自分の考えをもつことができるよう工夫されている。 ・対話を通して自分の考えを広げたり深めたりといった言語活動が設定できる文学的な文章の教材が取り上げられている。 ・各学年において、伝統的な文学作品や伝統行事、風物などに触れる内容が設けられている。 ・言葉がもつよさについての理解と言語感覚の育成として、言葉そのものについて考える教材が各学年に位置づけられ、日常生活における課題の解決を通して、相手、目的や意図、場面や状況に応じた表現について学ぶことができるよう配慮されている。 ・各単元に「問いをもとう」、「目標」、「学習過程」を示すことで、見通しをもって主体的に学習に取り組むことができるよう工夫されている。また、振り返りの視点が単元毎に示されており、次の学習に生かせるよう工夫されている。 ・各学年における「本は友達」や「本の世界を広げよう」、各単元末の「この本、読もう」で多くの本を紹介し、日常的、継続的に読書ができるよう工夫されている。 | | | | | | |
| 2 程度・選択・取扱について | <ul style="list-style-type: none"> ・多様なものの見方・考え方に触れ、自分の考えを広げたり深めたりできるような教材が取り上げられている。また、発達段階に応じた文章構成や論理展開になっている。 ・身近な課題設定で、段階的に対話のスキルが高められるように構成されている。対話の仕方の例や、QRコードによる動画資料で、視覚的に理解できるよう配慮されている。 ・QRコードから参考資料や動画が視聴でき、児童の理解を深めるのに役立つ。 ・「読むこと」に関する補足的・発展的学習が可能な資料教材や、課題解決学習、情報活用学習に関する教材が設置されている。 ・既習事項を思い出し、それを生かして学習が進められるように工夫されている。巻末資料は、学級の実態に応じて補足的にも発展的にも扱えるものとなっている。 | | | | | | |
| 3 組織・配列等について | <ul style="list-style-type: none"> ・各単元・教材のねらいを明確にし、身に付けたい力が着実に身に付くように、学年内や学年をわたって、系統的・段階的に位置付けることで、習得と活用が繰り返されるように工夫されている。 ・各単元において、見通しから振り返りまでの学習過程が明示されており、段階を踏んだ系統的な学習ができるよう工夫されている。 ・他教科や学校生活との関連が図れるように話題・題材が選定されている。また、地域や地域の文化に対する関心を深め、理解を深め、愛着や誇りをもつことができるよう配慮がされている。 ・第2学年以上では、「読むこと」と「書くこと」を関連させて構成し、効果的に力が身につくように意図した複合単元が設定されている。 ・各単元末には学習したことが「たいせつ」「いかそう」でまとめられており、次の学習に生かせる内容が取り上げられている。また、付録「たいせつ」のまとめでは、「話す・聞く」「書く」「読む」の内容ごとに学習したことが整理されている。 ・第2学年以上では、「情報の扱い方」に特化した教材を、理解や表現を伴った場面で習得・活用できるよう設定している。 | | | | | | |

取扱注意

令和6年度使用小学校用教科用図書

調査研究資料

(報 告 書)

書 写

鹿沼市立小中学校教科用図書調査員会

令和6年度使用（小学校）教科用図書調査研究報告書

| | | | | | | 種目 | 書写 | |
|----------------------|--------------------|---|------------------|------------------|------------------|----------|------|--|
| 教科用図書の記号・番号・名称 | | | | | | | 発行者名 | |
| 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 東京書籍株式会社 | | |
| 書写 106 あたらしいしよしゃー | 書写 206 新しいしよしゃ二 | 書写 306 新しい書写三 | 書写 406 新しい書写四 | 書写 506 新しい書写五 | 書写 606 新しい書写六 | | | |
| 観 点 | | 調 査 の 結 果 | | | | | | |
| 1 内容について | | <ul style="list-style-type: none"> ・文字文化单元「文字といっしょに」を通して、伝統と文化を尊重する態度を養えるようにしている。 ・「生活に広げよう」などにおいて、絵日記や生活作文など、国語と連動させた言語活動を取り上げ、生活への活用できるようにしている。 ・「こんな本もいっしょに」で、教材に関連する図書を紹介して読書指導の充実を図っている。 ・「学びを生かそう」で、日常生活や学校生活に役立つ教材を取り上げて、具体的にイメージしながら学べるように工夫している。 ・導入の「書写の学び方」で、学習の流れを確認できる。 | | | | | | |
| 2 程度・選択・取扱について | | <ul style="list-style-type: none"> ・年間32～35単位時間程度で学習が行えるようになっている。 ・学習指導要領の学年別漢字配当表の字形に拠って、硬筆文字と毛筆文字の整合性を図っている。 ・各単元の指導事項に適した字形を持つ文字であり、学年段階に応じた語彙を選んでいる。 ・取り上げた児童作例などは、外国人児童などの日本語指導の必要な児童にも配慮している。 | | | | | | |
| 3 組織・配列等について | | <ul style="list-style-type: none"> ・基礎・基本的な事項が確実に習得できるように、発達段階に応じて重点化しながら系統的に単元を配列し、螺旋的に学習できるよう工夫している。 ・2年以上は「書写のかぎ」を置いて、学習のねらいを明確化・焦点化している。 ・学習要素を系統的に分類・整理して、児童自身が系統性を意識した学習ができるように工夫している。3年以上は、表紙裏のインデックスに示している。 ・①課題を共有②毛筆で大きく書いて確認③硬筆で別の文字を書くことで定着を図る④振り返るという展開で構成されている。 | | | | | | |

令和6年度使用（小学校）教科用図書調査研究報告書

| 教科用図書の記号・番号・名称 | | | | | | 発行者名 |
|-------------------------------|------------------------------|--|-------------------------|-------------------------|-------------------------|--------------|
| 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 教育出版 株式会社 |
| 書写107 しょうがく しよしゃ 一ねん | 書写207 しょうがく しよしゃ 二年 | 書写307 小学 書写 三年 | 書写407 小学 書写 四年 | 書写507 小学 書写 五年 | 書写607 小学 書写 六年 | |
| 観 点 | | 調 査 の 結 果 | | | | |
| 1 内容について | | <ul style="list-style-type: none"> ・よい姿勢を保つ工夫と効率の良い鉛筆や筆の持ち方ができるように「あいことば」を用いて導いている。 ・指でなぞり書きできる教材文字を多く掲載している。 ・学習手順がわかるようになっている。1・2年は「めあて」と「ふりかえろう」、3年以上はさらに「考えよう」「ここが大切」「生かそう」も示されている。 ・巻頭に学習の進め方が示されている。 | | | | |
| 2 程度・選択・取扱について | | <ul style="list-style-type: none"> ・年間30～35単位時間程度で学習が行えるようになっている。 ・各学年の発達段階や語彙・言語環境などを考慮して、理解しやすい文字や語句を選んでいる。 ・硬筆・毛筆の字体の整合性がある。 | | | | |
| 3 組織・配列等について | | <ul style="list-style-type: none"> ・文字の書き方を理解し習得するために、書写学習の基礎・基本が確実に身につくようにしている。 ・「レッツトライ」「書いて伝え合おう」のページで、教科横断的な学習活動や日常生活に活用できるように関連を図っている。 ・日常生活に関連する「横書きの書き方」が各学年で扱われている。 | | | | |

令和6年度使用（小学校）教科用図書調査研究報告書

| | | | | | | 種目 | 書写 |
|-----------------------|----------------------|---|--------------------|--------------------|--------------------|----------------|----|
| 教科用図書の記号・番号・名称 | | | | | | 発行者名 | |
| 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 光村図書出版 株式会社 | |
| 書写 108 しよしゃ 一ねん | 書写 208 しよしゃ 二年 | 書写 308 書写 三年 | 書写 408 書写 四年 | 書写 508 書写 五年 | 書写 608 書写 六年 | | |
| 観 点 | | 調 査 の 結 果 | | | | | |
| 1 内容について | | <ul style="list-style-type: none"> ・見通しをもって学習できるように2年では「書写の学習場面」、3年以上では「学習の進め方」を写真で示している。 ・1年巻頭に「しよしゃすたーとぶつく」、3年では「毛筆スタートブック」を設け、入門期に基本をしっかり示している。 ・自己の成長を確認できるように全教材の末尾に自己評価欄として1年「できたかな」2年以上「振り返ろう」を設けている。 ・1年のひらがな教材では、筆づかいを擬音語・擬態語で示し、言葉を唱えながら書く工夫がある。 ・適切に運筆する能力を向上させる教材として、1・2年に「水書用紙」が用意されている。 ・全学年で基本となる姿勢・執筆を巻頭で丁寧に扱っている。1年には、「しよしゃ体操」を設け、疲れにくく、集中しやすい姿勢の維持ができるように工夫している。 | | | | | |
| 2 程度・選択・取扱について | | <ul style="list-style-type: none"> ・年間30～35単位時間程度で学習が行えるようになっている。 ・「SDGsブック」や「町の安全をつたえよう」など、学習を生活と結び付けて日常に生かすアイデアを盛り込んでいる。 ・学習指導要領の学年別漢字配当表に準拠しつつ、小学生にとって学びやすい文字を採用している。また、教科書活字体との整合性も図られている。 ・毛筆学習では、朱墨を用いて、穂先の向きや筆圧、点画のつながりなどの筆使いが把握できるように工夫されている。 ・日常の言葉や物語、ことわざ、俳句、詩などを味わう教材「ことば」が設けられている。 ・特別支援教育の視点から、大切なことが一目でわかる紙面構成になっている。 ・2年以上の全教材に、基礎基本を明確に示した「たいせつ」が設けられており、読みやすさと見やすさに配慮したユニバーサルデザイン書体を用いている。 | | | | | |
| 3 組織・配列等について | | <ul style="list-style-type: none"> ・1教科1目標として学習を通して身につける力を教材名としている。その教材で扱う要素を焦点化することで、ねらいを明確になり、効果的に力を身につけられるよう配慮されている。 ・各教材は、①導入②理解③確認④活用⑤振り返りという展開がひと目でわかるように構成している。 ・言語活動を通して、日常生活や他教科にも生きる知識・技能を習得できるように工夫している。また、「書写広げたい」を豊富に位置づけ、教科横断的な学習が充実できるように配慮している。 | | | | | |

取扱注意

令和6年度使用小学校用教科用図書

調査研究資料

(報 告 書)

社 会

鹿沼市立小中学校教科用図書調査員会

令和6年度使用（小学校）教科用図書調査研究報告書

| | | | | | | 種目 | 社会 |
|----------------|----|---|---------------------|---------------------|-------------------------------|------|------|
| 教科用図書の記号・番号・名称 | | | | | | | 発行者名 |
| 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 東京書籍 | |
| | | 社会305・306 新しい社会3 | 社会405・406 新しい社会4 | 社会505・506 新しい社会5 | 社会605・606 新しい社会6政治・国際編・歴史編 | | |
| 観 点 | | 調 査 の 結 果 | | | | | |
| 1 内容について | | <ul style="list-style-type: none"> ・ ページ下部に「まなびのポイント」やQRコードが適宜配置されており、学習内容をさらに広げて理解する一助となっている。 ・ 児童が社会科に興味をもって学習できるように工夫されており、「社会的な見方・考え方」を働かせながら、問題解決的な学習を進めていけるようにナビゲートするような内容が含まれている。 | | | | | |
| 2 程度・選択・取扱について | | <ul style="list-style-type: none"> ・ 「まとめる」の場面では、書き込む欄を設けることで調べたことを整理しやすくしている。また、図表やプレゼンテーションソフトなどの多様な表現方法を提示することで、思考力・判断力・表現力を育てられるように工夫されている。 ・ 「まなび方コーナー」を設定し、データや資料写真などから必要な情報を獲得したり、学習内容をまとめたりするために大切なポイントを提示している。 | | | | | |
| 3 組織・配列等について | | <ul style="list-style-type: none"> ・ 各ページに「つかむ」「調べる」「まとめる」を示し、児童が学ぶ目的意識をもちやすいように配慮されている。さらに、「いかす」と題して今後の自分の生活に生かせる内容について考えるページも設定されている工夫もある ・ 各単元の最後には「ひろげる」コーナーが配置されており、児童がさらに発展的な内容に興味をもちやすいように考慮された配列となっている。 | | | | | |

令和6年度使用（小学校）教科用図書調査研究報告書

| | | | | | | 種目 | 社会 |
|----------------|----|---|----------------|----------------|----------------|------|------|
| 教科用図書の記号・番号・名称 | | | | | | | 発行者名 |
| 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 教育出版 | |
| | | 社会307 小学社会3 | 社会407 小学社会4 | 社会507 小学社会5 | 社会607 小学社会6 | | |
| 観 点 | | 調 査 の 結 果 | | | | | |
| 1 内容について | | <ul style="list-style-type: none"> ・3年の「わたしたちのまち」では、地図記号を大きくはっきりと掲示し、児童が見やすくわかりやすい工夫が見られる。 ・「学びのてびき」や「キーワード」を設け、資料を関連づけて考えたり、読み取ったりする学習がしやすいように配慮されている。また、黄色で色づけされていて、視覚からも重要性を見いだすことができる工夫がされている。 ・キャラクターを活用することにより、児童の興味・関心を高めさせる工夫がされている。また、キャラクターの吹き出し部分に、児童の発想や思考の流れによって生じる「疑問」「つぶやき」「課題」を太字で記述することで、社会科で使う見方・考え方を意識して学習が深められるように配慮されている。 ・資料や写真の掲示の仕方が作業順や時系列に沿ったものとなっており、児童の視点移動を少なくしたり学習に集中することを助けたりする工夫となっている。 | | | | | |
| 2 程度・選択・取扱について | | <ul style="list-style-type: none"> ・3年の巻頭では、2年生までの生活科の学習を踏まえながら、社会科の見方や考え方を項目立てて示している。隣接していることから、違いが比べやすくなっている。 ・4学年以降の巻頭では、前の学年をふり返り、社会科の見方や考え方を同様に示している。 ・難解な用語については解説が載っている。 ・我が国の国土に関する学習や戦時中の様子について、詳細な記載やデジタル着色を用いた写真資料を取り扱っており、児童の理解を助け、愛国心や郷土愛を育めるよう配慮されている。 | | | | | |
| 3 組織・配列等について | | <ul style="list-style-type: none"> ・3年・4年ともに、文中の写真やイラストを適度に配置し、見やすい工夫がなされている。 ・「つかむ」「調べる」「まとめる」といった3つの段階を踏まえた活動の配置がされている。 ・学習指導要領の内容に沿った単元配列になっており、全体としての構成・内容・単元の区別も適切である。 | | | | | |

令和6年度使用 (小 学 校) 教科用図書調査研究報告書

| | | | | | | 種 目 | 社 会 |
|-----------------------------|---|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|-----|
| 教 科 用 図 書 の 記 号 ・ 番 号 ・ 名 称 | | | | | | 発 行 者 名 | |
| 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 日本文教出版 株式会社 | |
| | | 社会308 小学社会3 | 社会408 小学社会4 | 社会508 小学社会5 | 社会608 小学社会6 | | |
| 観 点 | 調 査 の 結 果 | | | | | | |
| 1 内容について | <ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領の社会科の目標、学年目標・内容・内容の取扱いをふまえて、社会的事象を適切に教材化した単元構成となっている。 ・児童の話合い活動から学習問題をつくり、問題解決的な学習を通して、理解を深められる内容となっている。 ・QRコードを随所に配置して、ミラーリングやタブレットを用いた学習に対応しやすいようになっている。 ・歴史学習の基本を学ぶページでは、歴史学習の3つの視点（空間・時間・関係）を明らかに示し、どのような視点で学習をすすめたらよいか、児童に伝わりやすい内容となっている。また、まとめ方も4つ例示し、児童が主体的に学習をすすめることができるような道筋をとらえられるようにしている。 | | | | | | |
| 2 程度・選択・ 取扱について | <ul style="list-style-type: none"> ・地域に深く関係のある3年生の「安全なくらし」では、消防隊員の仕事内容が写真と文章で、詳しく取り上げられている。 ・子どもたちの身近なものとして、4年生の「地いきの発てんにつくした人々」では、那須野ヶ原の開拓が取り上げられている。 ・調べ方として、メール、電話、インターネット、本や資料など様々な手法での例が示されており、児童が興味をもち調べ活動を進めていけるよう配慮されている。 ・「キーワード」では、社会科学習において、しっかりと身に付けてもらいたい名称や内容、が記載されており、知識や学習技能を定着することができるよう配慮されている。 ・「学び方・調べ方コーナー」では、各種資料の読み取り方、学習問題を解決するための調べ方、調べたことや学んだことの表現の仕方などが分かりやすくまとめてある。 ・児童が自ら見つけ出した問題を解決するために、調べ学習などの具体的な学習活動を通して理解を深め、追求し、気づくことができるよう、工夫している。 | | | | | | |
| 3 組織・配列等 について | <ul style="list-style-type: none"> ・3年4年ともに、子どもたちの身近な内容や問題を網羅し、みんなで考え、気軽に話しやすくなるような配列を工夫している。 ・児童の学習順序や思考の流れを考慮した組織・配列をしている。 ・未来につなげる ～わたしたちのSDGS～ を設け、児童の思考を深める構成に配慮している。 ・調べたことや考えたことを表現していく過程を、分かりやすく配列している。 | | | | | | |

令和6年度使用小学校用教科用図書

調査研究資料

(報 告 書)

地 図

鹿沼市立小中学校教科用図書調査員会

令和6年度使用（小学校）教科用図書調査研究報告書

| | | | | | | 種目 | 地図 |
|----------------|----|--|-----------------|-----------------|-----------------|------|------|
| 教科用図書の記号・番号・名称 | | | | | | | 発行者名 |
| 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 東京書籍 | |
| | | 地図303 新しい地図帳 | 地図303 新しい地図帳 | 地図303 新しい地図帳 | 地図303 新しい地図帳 | | |
| 観 点 | | 調 査 の 結 果 | | | | | |
| 1 内容について | | <ul style="list-style-type: none"> ・主要な学習分野（気候・農業・水産業・工業など）ごとに対応するページがあり、授業での活用がしやすく工夫されている。貿易に関しても、教科書の図の内容を補完するような内容となっている。 ・日本の特色ある地域（低地・高地・寒冷地・稲作地帯）については、QRコードから空撮動画にアクセスできるようになっており、児童が地形の特徴や土地利用の様子をイメージしやすい内容になっている。 | | | | | |
| 2 程度・選択・取扱について | | <ul style="list-style-type: none"> ・土地の標高を、等高線と色のみで表現しており、陰影を無くすことで見やすくなるように配慮している。また、全体的に明るい色調が選択されている。 ・地名に細く白い縁取りが施されている。都市が密集しているなどして情報量が多い場所においては、児童が地名を読み取りやすいように配慮されていると言える。 | | | | | |
| 3 組織・配列等について | | <ul style="list-style-type: none"> ・地図学習に楽しく取り組みながら、活用の技能を高められるように「ホップステップ」のコーナーが設定されている。星の数で難易度が示してあり、発達段階や能力に応じて児童が主体的に学べるように配列されている。 ・QRコードの読み込みからは、そのページに関連したコンテンツのメニューが開くように設定・配列されている。児童が主体的に学びを深めていく際に活用しやすいように配慮されている。 | | | | | |

令和6年度使用（小学校）教科用図書調査研究報告書

| 教科用図書の記号・番号・名称 | | | | | | 種目 | 地図 |
|----------------|----|---|------------------|------------------|------------------|------|----|
| 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 発行者名 | |
| | | 地図304 小学生の地図帳 | 地図304 小学生の地図帳 | 地図304 小学生の地図帳 | 地図304 小学生の地図帳 | 帝国書院 | |
| 観 点 | | 調 査 の 結 果 | | | | | |
| 1 内容について | | <ul style="list-style-type: none"> ・地図の使い方について、「地図のなりたち」「方位」「地図記号」「土地利用」という4つの項目を立てて説明するページを設けており、凡例・索引・縮尺についてもイラストを交えており、分かりやすい内容となっている。 ・東京、大阪、名古屋を含む主要な都市については5万分の1の分図を載せており、その地域の土地利用や特徴などを児童が把握しやすいように配慮されている。 ・各ページに記載されているQRコードからは、帝国書院のホームページにアクセスすることができ、コンテンツも自然・産業・災害や防災・歴史・世界遺産などの様々な内容が整備されており、授業中に活用しやすい。 ・主体的な学びから深い学びに対応するために、「地図マスターへの道」のコーナーを設定し、全100問のスマールステップで学べるようにしている。問いの内容も、位置や空間的な広がりを意識させるような内容が含まれている。 | | | | | |
| 2 程度・選択・取扱について | | <ul style="list-style-type: none"> ・5年生の日本の国土理解の学習や、6年生の歴史学習に対応する資料が選択されており、活用できるように配置されている。日本の国土の四つの端点にあたる島についての説明が記されていたり、江戸時代の江戸の町の様子を伝えたりしている。 ・自動車産業の学習に対応し、1ページ全面に愛知県の地図を載せ、部品ごとの工場の位置を図示している。児童が、産業の広がりを視覚的にとらえて理解するのに有効である。 ・全てのページにおいて、縮尺をさらにかみ砕いた表現で取り扱っている。1cm＝何kmに当たるかを示しており、計算等が苦手な児童でも、2点間の距離や隔たりをしらべる学習等にスムーズに取り組むことができるように配慮されている。 | | | | | |
| 3 組織・配列等について | | <ul style="list-style-type: none"> ・初めて地図帳を手にする3年生を対象として、地図の使い方や成り立ちを説明するページを多く確保している。空撮写真と地図を比較したページなどがあり、児童に分かりやすく配置されている。 ・社会科本来の活用を意図した地図から、教科横断的な活用や、児童の主体的な学びを促すためのページ、データ類などへと、工夫された配列となっている。 ・他教科の学習（国語や音楽）にも活用できるように、名作や楽曲の舞台となった場所にイラストが配置されている。 | | | | | |

令和6年度使用小学校用教科用図書

調査研究資料

(報 告 書)

算 数

鹿沼市立小中学校教科用図書調査員会

| 種 目 | | | | | | 算数 |
|--------------------------------------|--|----------------------------------|----------------------------------|----------------------------------|-----------------------|--------------|
| 教科用図書の記号・番号・名称 | | | | | | 発行者名 |
| 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 東京書籍 株式会社 |
| 算数112・113 新編 あたらしいさん すう1①・② | 算数212・213 新編 新しい算数2上・ 下 | 算数312・313 新編 新しい算数3上・ 下 | 算数412・413 新編 新しい算数4上・ 下 | 算数512・513 新編 新しい算数5上・ 下 | 算数612 新編 新しい算数6 | |
| 観 点 | 調 査 の 結 果 | | | | | |
| 1 内容について | <ul style="list-style-type: none"> ・全学年で、授業の展開、児童の思考の流れを想定し、学年の発達段階に応じて、問題解決のための図や発問、キャラクターの吹き出しなどを設け、児童が考える部分を残しつつ丁寧な学習過程の可視化を重視している。このことによって、児童が学習を振り返るときにも確実に内容がおさえられるようになっている。 ・問題解決の場面において、自分の考えを式、図、表などの数学的表現を用いて伝え合う活動が設定されており、児童が学んだ知識を用いて表現することができるよう配慮されている。 ・学んだことを日常生活に活用する場面が設定されており、日常の事象を数理的にとらえる経験を繰り返すことで、児童が算数の楽しさやよさを感じることができるよう配慮されている。 ・各単元において図や表、補助線などを使った考え方が示されており、児童がそれらを用いて考えたり、説明したりすることにより、授業のねらいを達成することができるよう工夫されている。 | | | | | |
| 2 程度・選択・ 取扱について | <ul style="list-style-type: none"> ・練習問題は、本文の例題と同程度の問題で構成されていて、細やかなステップで学習が進められるように配慮されている。 ・巻末には「ほじゅうの問題」を設定し、さらなる習熟が必要な場合に、児童の学習状況に幅広く柔軟に教科書で対応できるようになっている。 ・第2学年以上の発展的学習として、単元の学習を活用して問題解決に取り組む「おもしろ問題にチャレンジ」を設定し、数学の世界でさらに学習を深めることができるようになっている。 ・第4学年以上に「算数で読みとこう」を設け、データを数学的に読解・解釈したり考察し判断したりする等の活動を取り入れてある。これらの学習をきっかけとして、児童が関心をもちさらに探究していくきっかけとなるようテーマや学習展開などを工夫してある。 ・第6学年には、「算数卒業旅行」を設け、クイズやパズル、和算など楽しく学習できる教材があり、児童の興味関心に応じて、探究的な学習活動ができるように工夫してある。 ・第5、6学年の統計単元では、探究的な活動の手がかりとして、統計的な問題解決の方法（PDCAサイクル）を振り返るページを設けてある。また、第6学年の卒業間近の時期にミニ単元「データを使って生活を見なおそう」を新設し、PDCAサイクルを自らの生活改善に生かせるように工夫してある。 ・第3学年以上の各巻に、「かたちであそぼう」を設け、様々な図形に触れ、親しみながら図形感覚を養い、図形に関する探究的な学習に取り組むきっかけとなるようにしてある。 | | | | | |
| 3 組織・配列等 について | <ul style="list-style-type: none"> ・基礎的・基本的な内容をスパイラルに学習することに重点を置き、1つの学期に理解が困難な内容や、確実な知識技能の定着が求められる内容が集中したり、特に低、中学年では同一領域の内容がいくつも連続したりしないように、単元の配列を工夫してある。 ・習熟に時間を要する内容や、スパイラルに学習することが有効な内容については、2つの単元に分けて段階的に取り扱うようになっている。特に、計算単元などは、練習の機会を増やすよう学期末や学年末の配置を避けるなどの配慮をしている。 ・データの活用領域単元については、学校での指導や児童の発達段階上無理のない範囲で早めに扱い、以後、身の回りの様々な問題解決や長期休暇時の自由研究等に活用できるように配慮してある。 ・第3学年「重さ」と理科の「重さ」、第4学年「折れ線グラフ」と理科の「天気のようにすと気温」など、内容的に関連の深い内容については、指導時期を考慮した配列位置にしてある。相互に理解を深め効果的・効率的に学習が進められるようにし、算数の学習内容の価値が児童に伝わるように工夫してある。 | | | | | |

令和6年度使用 (小 学 校) 教科用図書調査研究報告書

| 教科用図書の記号・番号・名称 | | | | | | 発行者名 |
|---------------------------------------|-------------------------|---|-------------------------|-------------------------|-------------------------|---------------|
| 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 大日本図書 株式会社 |
| 算数114・115 新版たのしい さんすう1ねん ①・② | 算数214 新版たのしい 算数2年 | 算数314 新版たのしい 算数3年 | 算数414 新版たのしい 算数4年 | 算数514 新版たのしい 算数5年 | 算数614 新版たのしい 算数6年 | |
| 観 点 | | 調 査 の 結 果 | | | | |
| 1 内容について | | <ul style="list-style-type: none"> ・児童の興味・関心を喚起する問題、解決の必要感をもたせた課題を設定し、数学的活動を通して考える楽しさや解決できたときの喜びを感じることができるよう配慮されている。 ・問題解決の際に数理的な処理のよさに気付くことができるよう、図や式、表などに表すよさや計算の工夫などのよさがわかるよう工夫されている。 ・各種の学力調査で課題とされる、読解力・活用力・表現力を育成するため、「読み取る力をのばそう」を設けている。文章や図・グラフを読み取る力や考えを表現する力を育成することができるように工夫されている。 ・巻頭の「算数の学び方」において、ペア・グループ学習を含めた対話的な学びの方法を例示したり、話し方、聞き方のポイントを示したりし、授業における言語活動を促すように工夫されている。 ・プログラミングにふれる活動を全学年に設けている。 ・単元末の「たしかめ問題」では、単元で使いたい見方・考え方を問う問題「見方・考え方をたしかめよう」が新設され、単元で大切な数学的な見方・考え方を確かめられるようになっている。文章量の多い問題も取り入れられ、読解力を育成することもできるようになっている。 | | | | |
| 2 程度・選択・取扱について | | <ul style="list-style-type: none"> ・個に応じた指導に対応できるように、単元末「たしかめ問題」では、取り組む問題を選択できるようにするとともに、「しっかりチェック」を設け、習熟度別指導などで、柔軟に取り扱うことができるように工夫されている。巻末補充問題「プラス・ワン」を全単元にわたって設定し、さまざまな難易度の問題を設け、理解の早い児童の対応もしやすくしている。 ・第3学年以上の単元末の「たしかめ問題」には、発展的な問題に取り組むことができる「チャレンジ」のデジタルコンテンツを設け、習熟度の高い児童にとって、学力向上への配慮がなされている。 ・適宜、問題を作る活動を取り入れ、探求的な学習活動も取り扱えるよう工夫している。 | | | | |
| 3 組織・配列等について | | <ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領に示された内容はもれなく扱うとともに、さらに学力をのばすために活用問題や補充問題などを豊富に掲載している。 ・「じっくり深く学び合おう」や練習問題の豊富な掲載、「ふくろう先生のなるほど算数教室」などを通して、算数科の目標としている資質・能力が育成できるように工夫されている。 ・目次では、各単元に関連する既習の学習や今後の学習を記載し、系統性を意識できるようになっている。 | | | | |

令和6年度使用（小学校）教科用図書調査研究報告書

| | | | | | | 種目 | 算数 |
|---|--|---------------------------------------|---------------------------------------|---------------------------------------|---|--------------|----|
| 教科用図書の記号・番号・名称 | | | | | | 発行者名 | |
| 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 学校図書 株式会社 | |
| 算数116・117 みんなとまなぶ しょうがっこう さんすう 1ねん上・下 | 算数216・217 みんなと学ぶ 小学校 算数2年上・下 | 算数316・317 みんなと学ぶ 小学校 算数3年上・下 | 算数416・417 みんなと学ぶ 小学校 算数4年上・下 | 算数516・517 みんなと学ぶ 小学校 算数5年上・下 | 算数616・617 みんなと学ぶ 小学校 算数6年・6年中 学校へのかけ橋 | | |
| 観 点 | 調 査 の 結 果 | | | | | | |
| 1 内容について | <ul style="list-style-type: none"> ・計算単元では、演算決定をするための有効な手立てである図の指導を、発達段階に応じて低学年から系統的に扱っている。第4学年以降では、4マス関係表を使って効果的に演算決定ができるようになっている。 ・全学年の巻末に基礎・基本を習熟するための「ほじゅう問題」、応用的・発展的な課題を解決する「ふかめよう」を掲載することで、個々の習熟に柔軟に対応できるようになっている。 ・各単元の導入では、既習事項を使って解決することができる身近な課題を設定することにより、児童が見通しをもって課題解決することができるよう配慮されている。 ・問題解決の過程において、各単元に既習事項と対比して考える場面を取り入れており、児童が学んだ知識を統合しながら考察できるよう配慮されている。 | | | | | | |
| 2 程度・選択・ 取扱について | <ul style="list-style-type: none"> ・「測定」領域の単元では、具体操作を中心に量概念、量感覚を育成するとともに、測定の概念については、直接比較・間接比較・任意単位・普遍単位の流れをベースにして展開してある。 ・「図形」領域の単元では、かく、折る、切る、測るなどの数学的活動を通して、図形の調べ方を育成できるようになっている。また、身のまわりのものから抽象化したり、作品作りなどで図形の感覚を育成したりするなど、図形を用いるよさに着目できるようになっている。 ・各時間の最後に適用問題があり、1時間の学習内容の習熟を図れるようになっている。また、より習熟を深めることができるように、巻末に「ほじゅう問題」が設けてある。 ・単元末の「できるようになったこと」では、二次元コードのリンク先に練習問題を用意し、より習熟できるようにしてある。 ・巻末の「もっと算数」内の「ふかめよう」では、複数単元の内容、生活の中の算数などを題材に、総合的・発展的に考える教材も取り入れられている。 | | | | | | |
| 3 組織・配列等 について | <ul style="list-style-type: none"> ・計算では、けた数の少ないものから多いもの、繰り上がりや繰り下がりのないものからあるものへと、児童の発達段階を考慮し、段階を細かく分け、図や操作活動を通して、易から難へと配列してある。 ・第1学年の数の学習では、入学前の児童の数の理解程度を研究し、10まで、30まで、120までと分け、数拡張の中で十進位取り記数法の定着に十分時間をかけられるようになっている。 ・計算については、基礎・基本を明確にし、既習事項を使って計算方法を自分で考えられるものについては「くふうして計算のしかたを考えよう」単元として設定してある。 ・第4学年の面積や第5学年の体積では、既習の量の測定の概念を用いて考えられるように配慮してある。 ・倍については、児童のつまづきが多い内容であるため、本単元とは切り離して特設単元として、第3学年から第6学年までの「倍の計算」単元で学習できるようになっている。 ・導入では、ストーリーのあるイラストを用いて生活の場面から素材を提示するようにし、作業的・体験的な数学的活動も取り入れながら、課題把握が十分できるようになっている。 ・学期末の「算数をつかって」では、総合的な学習の時間でも扱える話題を取り上げ、現代的な課題に取り組むことができるよう配慮してある。 | | | | | | |

令和6年度使用（小学校）教科用図書調査研究報告書

| | | | | | | 種目 | 算数 |
|-------------------------|---|---------------------------|---------------------------|----------------|----------------|----------|----|
| 教科用図書の記号・番号・名称 | | | | | | 発行者名 | |
| 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 教育出版株式会社 | |
| 算数118 しょうがく さんすう1 | 算数218・219 小学算数2上・ 下 | 算数318・319 小学算数3上・ 下 | 算数418・419 小学算数4上・ 下 | 算数518 小学算数5 | 算数618 小学算数6 | | |
| 観 点 | 調 査 の 結 果 | | | | | | |
| 1 内容について | <ul style="list-style-type: none"> ・身近な題材から問題を発見して、目的意識をもち数学的活動に取り組めるような単元導入が設定されている。また、単元末では、活用問題を通して学びの深まりを実感できるような工夫がされているため、単元のまとまりで数学的な見方・考え方を身につけることができるよう工夫されている。 ・巻末に学年を超えて既習事項を振り返る際に参照できる「学びのマップ」が配置され、わからない箇所や、関連する内容を確認することができるようになっている。 ・単元ごとに、典型的なまちがいが起こりやすい問題がクローズアップされた「考えるヒント」が示されているので、個に応じた細やかな支援ができる。 ・識別しやすい配色を用い、図版に色名を付記することで色調以外でも区別できるように配慮されている。また、ユニバーサルデザインフォントが採用されているので、タブレットや電子黒板でも見やすくなっている。 | | | | | | |
| 2 程度・選択・ 取扱について | <ul style="list-style-type: none"> ・基礎的・基本的な内容に重点を置き、発達段階に応じて無理なく学習が進められるように構成されている。練習問題についても、基礎・基本に重点を置きつつ、習熟度に応じて選択的に取り組めるように工夫されている。 ・環境、情報、防災など、社会の変化に対応したテーマとした教材を取り上げることで、現代的な諸課題に触れられるように配慮がされている。 | | | | | | |
| 3 組織・配列等 について | <ul style="list-style-type: none"> ・他教科と関連した場면을豊富に扱うことで教科横断的に学習に取り組めるよう配慮されている。 ・繰り返し学習の機会が適宜設けられ、基礎的な学力が習熟、維持されるように単元配列が工夫されている。 ・第1学年の教科書は、写真やイラストなどから子どもの気づきを引き出し、生活科を中心とした合科的活動から学習に取り組めるようになっている。また、第6学年では中学数学への期待が高まるような特設教材などが掲載され、幼少、小中の接続・連携に配慮した内容となっている。 | | | | | | |

令和6年度使用（小学校）教科用図書調査研究報告書

| 教科用図書の記号・番号・名称 | | | | | | 種目 | 算数 |
|--|---|------------------------------|------------------------------|----------------------|----------------------|----------------------|----|
| 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 発行者名 | |
| 算数120・121 わくわくさんす う1すたああと ぶっく・わくわ くさんすう1 | 算数220・221 わくわく算数 2上・2下 | 算数320・321 わくわく算数 3上・3下 | 算数420・421 わくわく算数 4上・4下 | 算数520 わくわく算数 5 | 算数620 わくわく算数 6 | 株式会社 新興出版社 啓林館 | |
| 観点 | 調査の結果 | | | | | | |
| 1 内容について | <ul style="list-style-type: none"> 単元の導入で、既習事項や日常の問題を提示し、興味をもてるような工夫がされている。 本時では、「めばえ」「めあて」「まとめ」の順に構成されていて、まとめが全時間表記されている。子供たちが自ら問いや見通しを立て、主体的・協働的によりよい解決に向かうことができるようになっている。 単元末の「学びのまとめ」では、「たしかめよう」「ふりかえろう」「やってみよう」の順に学習の習熟を図ることができ、主体的に新たな学びに向かう姿勢を育める内容になっている。 巻末には、「学びのサポート」があり、「じゅんび」「もっと練習」「答え」「学びをつなげよう」と分かれていて、児童の実態に合わせて、活用できるページになっている。 ICTが学びをサポートできるように、QRコンテンツが充実している。「操作コンテンツ」「説明動画」「問題」「確認のためのスライド」「解説動画」の5種類がある。 キーワードにして児童が身に付けておきたい考え方を紹介し、筋道立てた考え方につながるような配慮がなされている。 子どもたちが主体的・対話的に学習している様子がキャラクターの発言として書かれていて、数学的な見方・考え方には、マーカーで印がついている。そのため、数学的な見方・考え方を働かせ、統合的・発展的に考えていくことができるように工夫されている。 | | | | | | |
| 2 程度・選択・取扱について | <ul style="list-style-type: none"> 1つの単元に複数のQRコードがついていて、ICTを生かした学習を授業に取り入れられると共に、自宅での学習でも活用ができる。解説動画もついていて、分かりやすい。 イラストや写真が充実していて、イメージしやすく、実際の生活に取り入れやすい。計算の手順をわかりやすく示したり、具体物と対応させたりすることで、スムーズに作業できるよう工夫されている。 幼保小の接続が意識されていて、第1学年のスタートカリキュラムで、主体的に自己を発揮しながら学びに向かうために、第1学年の教科書が分冊されている。幼児期から算数の学びへ滑らか接続できるようになっている。 小中の接続として、第4学年以上の内容で「数学へのとびら」があり、数学への期待感が込められている。「はってん」では、算数の学習に関連した発展的な内容もあり、算数の学習も深めることができる。 | | | | | | |
| 3 組織・配列等について | <ul style="list-style-type: none"> 領域のバランス、児童の負担の軽減や習熟期間を考慮した単元の指導時期の設定や配列がなされている。 児童にとって身近な題材や既習の内容をベースに導入し、児童の思考の流れに沿った展開となっている。スモールステップの段階を踏んで構成されている。 1時間の流れを想定して、1ページまたは2ページで構成されている。 練習問題や復習問題が計画的に設定しており、学習内容の理解の定着と知識の持続が図れるようになっている。巻末には「じゅんび」や「もっと練習」があり、適宜柔軟に時間を使って補えるようになっている。 | | | | | | |

令和6年度使用（小学校）教科用図書調査研究報告書

| 教科用図書の記号・番号・名称 | | | | | | 種目 | 算数 | 発行者名 |
|-------------------------------------|--|----------------------------|----------------------------|----------------|----------------|----|----|------------|
| 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | | | 日本文教出版株式会社 |
| 算数122・123 しょうがく さんすう 1 ①・② | 算数222・223 小学算数 2上・2下 | 算数322・323 小学算数 3上・3下 | 算数422・423 小学算数 4上・4下 | 算数522 小学算数5 | 算数622 小学算数6 | | | |
| 観 点 | 調 査 の 結 果 | | | | | | | |
| 1 内容について | <ul style="list-style-type: none"> 各単元のはじめに、子供たちの興味や好奇心に働きかける題材が用意されている。操作活動、既習事項の振り返り、身の回りの観察などにより、子供たちの学習意欲を高める工夫がされている。主体的な学習を進めることができる内容になっている。 つながりを大切にした単元の構成になっている。 数学的活動としての問題解決的な学習の進め方を単元中の、《自分でみんな》で示すことに加え、毎時間の「めあて」と「まとめ」を具体的に示し、その時間の学習の流れを明確にしている。 全学年に設けた《自分でみんな》では、4段階に整理した問題解決的な学習の過程と具体的な着眼点を示し、自分の考え方を広めたり、言語活動が充実したりできるよう配慮されている。 | | | | | | | |
| 2 程度・選択・取扱について | <ul style="list-style-type: none"> 単元の末に「わかっているかな」「たしかめよう」が掲載され、まちがいがしやすい問題や見方・考え方を磨く学習ができるようになっており、子どもたちの苦手やつまずきの克服、基礎基本の確認を強化できるものになっている。 巻末の「算数マイトライ」には、基礎基本的な問題「しっかりチェック」、応用的・発展的な問題として「ぐっとチャレンジ」、探究的な問題「もっとジャンプ」が掲載され、習熟度別指導などの個別最適な学びができるよう工夫されている。 子供たちにとって、難関であるといわれてきた「倍」「割合」に関する学習について低学年からいねいに積み上げていくように構成され、第3学年以降に「倍」と「割合」に特化した単元が新設されている。 | | | | | | | |
| 3 組織・配列等について | <ul style="list-style-type: none"> 低学年では単元を分散的に構成し、同じ内容が長い期間続かないようになっている。また、高学年では、学習効果や効率を考慮し、関連する内容をまとめた配列になっている。 各学年で習熟に時間を要する内容は、できるだけ早期に学習するような配列になっている。 校種間の連携、第1学年では、子どもたちが無理なく算数の世界に入れるようつくり、第5、6学年では、中学校数学とのつながりを意識したつくりになっている。 「算数ジャンプ」では、他教科と関わる様々なテーマの題材が提示されており、学習したことを生かして教科横断的に学習し、理解を深めることができるように配慮されている。 | | | | | | | |

取扱注意

令和6年度使用小学校用教科用図書

調査研究資料

(報 告 書)

理 科

鹿沼市立小中学校教科用図書調査員会

令和6年度使用（小学校）教科用図書調査研究報告書

| | | | | | | 種 目 | 理 科 |
|----------------|----|--|----------------------|----------------------|----------------------|----------|-----|
| 教科用図書の記号・番号・名称 | | | | | | 発行者名 | |
| 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 東京書籍株式会社 | |
| | | 理科 305 新しい理科 3 | 理科 406 新しい理科 4 | 理科 507 新しい理科 5 | 理科 607 新しい理科 6 | | |
| 観 点 | | 調 査 の 結 果 | | | | | |
| 1 内容について | | <ul style="list-style-type: none"> 単元導入に問題をつかむための活動を設けることで、児童が予想を立て、主体的対話的に問題をつかむことができるように工夫されている。 主体的な問題解決学習をサポートしたり、学んだことを広げたりするためのQRコンテンツが用意されている。 理科の学びが深まり、理科の有用性が感じられるように、単元末に、学んだことを日常生活につなげる読み物や活動を設定している。SDGsやプログラミングなどの現代的な課題についても取り上げ、それらの課題への児童の関心や論理的思考力を高める配慮がなされている。 | | | | | |
| 2 程度・選択・取扱について | | <ul style="list-style-type: none"> 大きくわかりやすい図や写真が多く、効果的に絵や図を使い、実験の様子が学年に応じて理解しやすいよう工夫されている。 児童一人ひとりの習熟度に合わせて使用できる「理科ノート」や興味関心に応じて学習活動ができる「理科のひろば」など、個別最適な学びがなされるように配慮されている。 単元導入に対話的な学びを促す問いかけを設定し、児童同士が話し合っって考えを深める協働的な学びがなされるように配慮がされている。 | | | | | |
| 3 組織・配列等について | | <ul style="list-style-type: none"> 全学年同じ流れで学習が進められるよう手順がフローチャート表示され、学びの流れを分かりやすく示すことで、見通しをもちながら学びを進めやすくしている。 カラー写真や動画などの学習素材を全国から集め、その中から地域の身近な資料として活用したり、他の地域と比較したりできるよう配慮している。 学習の基礎となるノートのとり方、話合いの仕方、器具の使い方などが巻末の「理科の調べ方を身につけよう」にまとめられており、多様な場面で活用できるよう配慮されている。 | | | | | |

令和6年度使用（小学校）教科用図書調査研究報告書

| | | | | | | 種目 | 理科 |
|----------------|--|-------------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|---------------|----|
| 教科用図書の記号・番号・名称 | | | | | | 発行者名 | |
| 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 大日本図書 株式会社 | |
| | | 理科308 新版たのしい 理科3年 | 理科408 新版たのしい 理科4年 | 理科508 新版たのしい 理科5年 | 理科608 新版たのしい 理科6年 | | |
| 観 点 | 調 査 の 結 果 | | | | | | |
| 1 内容について | <ul style="list-style-type: none"> ・単元の導入の場面設定から、児童の興味関心を引くような題材を紹介することで、児童の対話が生まれ、主体的に学習に取り組めるように工夫されている。 ・各学年で重点をおいて育成すべき問題解決の力を示し、その力が身に付けられるような活動が設定されている。 ・ノートのとめ方や記録の仕方、発表の仕方等を開設した巻末資料を設けることで、児童が適切な記録・整理ができる力や、他者に伝える言語能力を身に付けられるよう配慮されている。 | | | | | | |
| 2 程度・選択・取扱について | <ul style="list-style-type: none"> ・巻頭に「理科の学び方」を示し、児童が学習の流れをつかみ、見通しをもって学習に取り組めるように配慮されている。 ・発展的な内容として、学んだことが日常生活でどのように活用されているか等、理科の有用性を感じさせるような読み物・実験が紹介されている。また、巻末には、これまでに学んだことを複合的に考える「チャレンジ問題」があり、学びを生かすことできるよう工夫されている。 ・実験方法を丁寧に例示することで、児童が見通しをもって実験していけるよう配慮されている。また、それぞれの実験のページにQRコードを載せており、児童・教師が手順を確認しやすくなるよう配慮されている。 | | | | | | |
| 3 組織・配列等について | <ul style="list-style-type: none"> ・紙面がA4の大きさになっていることで、1ページ当たりの情報量が大きくなり、問題解決の全課程を示すことができたり、写真大きく使って児童の興味関心を引くことができたりする利点がある。 ・ページの下部にQRコードを豊富に設け、関連するウェブコンテンツにアクセスできるようにしたり、タブレット端末の活用場面を紹介したりして、ICT機器を活用しながら学習内容を深く理解できるように配慮されている。 ・巻末に「理科の学びに役立てよう」のページを設け、学習内容を再確認できるとともに、前の学年や次の学年との系統性が分かるよう配慮されている。 | | | | | | |

令和6年度使用 (小 学 校) 教科用図書調査研究報告書

| | | | | | | 種 目 | 理科 |
|--------------------|----|---|----------------------------|----------------------------|----------------------------|--------------|----|
| 教科用図書の記号・番号・名称 | | | | | | 発行者名 | |
| 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 学校図書 株式会社 | |
| | | 理科309 みんなと学ぶ 小学校理科3年 | 理科409 みんなと学ぶ 小学校理科4年 | 理科509 みんなと学ぶ 小学校理科5年 | 理科609 みんなと学ぶ 小学校理科6年 | | |
| 観 点 | | 調 査 の 結 果 | | | | | |
| 1 内容について | | <ul style="list-style-type: none"> ・巻末に「考えよう調べよう」のページを設け、話し合い方、調べ方、記録の取り方、発表方法などが記載され、発達の段階に即し、計画的に進められるように配慮されている。 ・学年の巻頭において、「科学者の言葉」や「理科の世界をぼうけんしよう」で、学習への意欲を喚起している。各単元の実験や観察の際に注意すべき点や方法などを示して、実際の観察・実験が理科学的な見方・考え方に基づいて進められるよう配慮されている。 ・「問題を見つけよう」から「問題」「予想・計画」「観察・実験」など連続的に単元が進められるように工夫されている。 | | | | | |
| 2 程度・選択・ 取扱い | | <ul style="list-style-type: none"> ・新しく学習する観察の方法や生き物の育て方、実験器具の使い方などを写真や図を使い、詳しく説明し、正確に行えるよう工夫されている。 ・「ふりかえろう」で知識技能や活用問題による振り返りができるようになっている。 ・単元末に「できるようになった」を設け、学習内容の確認ができるよう配慮されている。 | | | | | |
| 3 組織・配列・ 分量について | | <ul style="list-style-type: none"> ・巻末に「理科の世界をふりかえろう」を設け、学習内容が再確認できるとともに、次の学年との系統性が分かるよう配慮されている。 ・他教科との関連した資料を多く記載し、関連付けて学べるよう配慮されている。 | | | | | |

令和6年度使用（小学校）教科用図書調査研究報告書

| | | | | | | 種目 | 理科 |
|--------------------|----|---|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------|----|
| 教科用図書の記号・番号・名称 | | | | | | 発行者名 | |
| 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 教育出版 株式会社 | |
| | | 理科310 未来をひらく 小学理科3 | 理科410 未来をひらく 小学理科4 | 理科510 未来をひらく 小学理科5 | 理科610 未来をひらく 小学理科6 | | |
| 観 点 | | 調 査 の 結 果 | | | | | |
| 1 内容について | | <ul style="list-style-type: none"> ・導入では、子供の興味を高める写真を掲載したり、誰もが経験しているような話題（現象）を取り上げたり、既習の学習から疑問を膨らませたりして問題を想起し、意欲的に問題解決学習が始められるよう配慮されている。 ・自ら課題を見つけ、予想を立て、実験や観察の計画を立て、実験観察し、結果から結論を導く問題解決の流れが明確になるように子供のキャラクターのアイコンで問題解決の過程が表現されている。 ・キャラクターや吹き出しを活用して、各学年で育てたい、「見方、考え方のカギ」が記載され、見通しを持って学習を進められるようになっている。 ・各学年で主に育成を目指す、問題解決の力を育てる場面では、「〇〇年のちから」を設定している。 ・「科学の窓」「チャレンジ」「資料」等のコラム記事を通して、学習への興味関心を高めたり科学的な見方や考え方を深めたりするような工夫がされている。 | | | | | |
| 2 程度・選択・ 取扱について | | <ul style="list-style-type: none"> ・単元の終わりに「たしかめ」のコーナーを設けており、学習の理解度が確認できるように記載されている。 ・「学びを広げよう」「資料」「科学のまど」では、学習内容に関連する実生活の話や発展的な実験の仕方、学習に役立つ詳しい資料が示され、理科を学習する有用性を感じたり、興味関心が高まる内容が記載されている。 ・「注意マーク」「危険マーク」の記載、裏表紙に「理科の安全の手引き」を掲載するなど安全面の配慮がされている。 | | | | | |
| 3 組織・配列等 について | | <ul style="list-style-type: none"> ・3～6年では、単元の最初のページには他学年とのつながりが明記され、系統性を意識しながら学習できるように配慮されている。また、4～6年では、巻頭で「〇年で学んだこと」を設け、既習学年の学習内容を振り返りながら学習が進められるよう配慮されている。 ・巻頭の「学習の進め方」「自分たちの考えを伝え合い、学び合おう」を示すことにより、主体的に学習を進め、科学的な思考力をつけるための工夫がされている。 ・「調べ方、使い方」において、実験や観察の準備物や実験器具の使い方が細かく書かれていて、教材研究する教師側も、使用する児童側も把握しやすい。 | | | | | |

令和6年度使用（小学校）教科用図書調査研究報告書

| 教科用図書の記号・番号・名称 | | | | | | 種目 | 理科 |
|--------------------|---|------------------|------------------|------------------|------------------|----------------------|----|
| 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 株式会社 新興出版社 啓林館 | |
| | | 理科312 わくわく理科3 | 理科412 わくわく理科4 | 理科512 わくわく理科5 | 理科612 わくわく理科6 | | |
| 観 点 | 調 査 の 結 果 | | | | | | |
| 1 内容について | <ul style="list-style-type: none"> ・単元の導入から、予想や実験方法、結果、考察、まとめなどが一連の流れになっている。児童が主体的に学習に取り組むことができるように工夫されている。 ・実験や観察をした後すぐにまとめるのではなく、実験結果からなぜそうなるのかをよく考察し、その後まとめているので、理解を深めることができるようになっている。 ・「くらしとリンク」のコーナーは身近な話題が多く、実験結果を実感できる場となっている。 ・地球環境を考える機会を与え、地球を守ろうという意識を高めている。 ・観察・実験の結果とその結果からわかったことの違いを明確にすることに配慮されている。また、新たな疑問をもてるよう学習内容の順序に考慮しながら、再現性・客観性のある実験へと発展させ、科学的な概念を形成できるよう配慮されている。 | | | | | | |
| 2 程度・選択・ 取扱い | <ul style="list-style-type: none"> ・調べ学習では、予想や方法などがキャラクターのふき出しなどに書いてあり、自分たちで主体的に取り組むためのヒントとなっている。 ・発展的な内容は、児童が興味を示すような資料や実験を多く取り上げ、方法や解説が詳しく掲載されている。 ・「STEAM」のコーナーでは、理科だけでなくものづくりや算数など他の分野と関連させて学ぶことができる。 | | | | | | |
| 3 組織・配列・ 分量について | <ul style="list-style-type: none"> ・どの学年も3領域をバランスよく配置し、発達段階に合わせた分量になっている。生きものの教材は春から夏にかけて配置し学習しやすくするとともに、地域の特性も考慮している。 ・各単元で学習したことを「まとめノート」のページでは自分でまとめることにより、理解を深めることができるようになっている。 | | | | | | |

令和6年度使用小学校用教科用図書

調査研究資料

(報 告 書)

生 活

鹿沼市立小中学校教科用図書調査員会

| | | 種目 | 生活 |
|-----------------------|--|----------|----|
| 教科用図書の記号・番号・名称 | | 発行者名 | |
| 1・2年 | | 東京書籍株式会社 | |
| 生活101 あたらしい せいかつ 上 | 生活101 あたらしい せいかつ 下 | | |
| 観 点 | 調 査 の 結 果 | | |
| 1 内容について | <ul style="list-style-type: none"> ・ 上下巻を通して内容の「季節の変化と生活」「自然や物を使った遊び」「生活や出来事の交流」が重視されており、目標・内容に適合している。 ① 学習指導要領で示された育成を目指す資質・能力を、教科書紙面で分かりやすく具体化している。また、何ができるようになるのか、どこにポイントがあるのかがひと目で分かる「生活科の学びが見える」教科書の実現を図っている。（吹き出しや児童の姿、表現作品などで具体的に例示） ② 児童がこれから始まる活動への思いを喚起できるよう、全ての単元扉を見開き構成とし、いきいきとした活動写真を掲載している。 ③ 小単元で主に育成を目指す資質・能力を本文とマークで明示し、指導と評価の一体化を目指せるように配慮している。 ④ 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現をサポートするために工夫されている。「個別最適な学び」の実現に向けては、具体的な例示や資料を随所に掲載している。また、児童一人一人の興味関心を刺激し、学習意欲を高めるため、豊富なQRコンテンツが用意されている。「協働的な学び」実現に向けては、活動や体験を通して得た気づきを伝え合う姿や、多様な他者と関わる姿などを、具体的に例示している。 ⑤ 振り返りと表現活動の充実が図られている。具体的な活動のイメージがもてるような多様な表現方法の掲載、学習内容や発達の段階に合わせた内容が例示され、活動の質が高まるよう配慮している。 ⑥ 3つの災害（自然、交通、人的災害）に加えて、熱中症や病気・感染症に対する対策・対応を掲載し、児童が安全に生活できる力を身に付けられるよう配慮している。 ⑦ インクルーシブ教育やSDGsに関連する内容を掲載。また、特別な支援を必要とする児童も含めて、全ての児童にとって分かりやすい教科書になっている。 ⑧ 47都道府県の地域の行事などを見る「きせつのくらし図かん」、実物大の植物を掲載した「ほんとうのおおきさいきものずかん」や、ひと目で植物の生長が分かる「パノラマページ」など、紙面で見るとよさを生かした資料が充実している。 | | |
| 2 程度・選択・取扱いについて | <ul style="list-style-type: none"> ・ 上巻の巻頭では、スタートカリキュラムで行われる活動を生活科の内容で構成し、具体的に例示することで、すべての学校で適切に実施することができるように工夫されている。「きょうしつ」「ともだち」「がっこう」と、関わる人と場所を徐々に広げていく構成になっており、児童が安心して自己を発揮しながら学校生活を送ることができるように配慮されている。 ・ スタートカリキュラムから他教科等への学びへの接続が円滑に行われるよう、写真やイラストを用いて具体的に例示している。2年間を通して幼児期の経験が上巻へ、上巻の学びが下巻で生かされ深まるように、経験を想起させる場面や、学びを振り返り生かしている場面を随所に掲載している。 ・ 上下巻ともに「やってみよう」のコーナーが設けられており、学校や学級、児童の状況に応じて発展的・選択的に活用し、学習をまとめたり深めたりすることができるように工夫されている。また、児童の思いや願いを大切にできる、身近で取り組みやすい活動や教材が取り上げられている。 ・ 上巻の「かんさつずかん」では、気づきを質的に高める視点が例示されている。また、下巻の「かつどうべんりてちょう」では、気づきを関連付け、質的に高めるためのヒントをまとめたページが設けられている。活動の際に自ら調べたり、比べたりすることができる資料が豊富に掲載されている。 | | |
| 3 組織・配列等について | <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校や地域の実態に合った学習活動が展開できるように、活動のまとまりごとに単元を設け、その配列を組み替えられるようになっている。 ・ 四季の変化を意識しながら生活や学習ができるよう、季節の流れを軸に、時系列で単元が配列・構成されている。 ・ 育成すべき資質・能力が、挿絵や写真、吹き出しで例示されていたり、他教科等との関連的な指導のヒントが掲載されていたりするなど、教科等横断的な教育課程の編成に配慮されている。 ・ 架け橋期の教育の充実を図るため、幼児期の特性を生かした単元導入や学習活動の例が随所に掲載されている。 | | |

| | | 種 目 | 生 活 |
|---------------------------|--|-----------|-----|
| 教科用図書の記号・番号・名称 | | 発行者名 | |
| 1・2年 | | 大日本図書株式会社 | |
| 生活103 たのしい せいかつ 上 なかよし | 生活104 たのしい せいかつ 下 はっけん | | |
| 観 点 | 調 査 の 結 果 | | |
| 1 内容について | <ul style="list-style-type: none"> ・ 上下巻を通して内容「季節の変化と生活」「自然やものを使った遊び」「動植物の飼育・栽培」「生活や出来事の交流」が重視されており、目標・内容に適合している。 ① 学習指導要領の目標・内容に即し、多様で具体的な活動・体験について、児童の興味・関心や発達段階に応じて円滑に対応できるように配慮されている。 ② 児童が活動に即して基本的な知識や技能の習得が図れるように配慮されている。 ③ 児童自身に考えさせるための投げかけが示されている。児童の考える時間を保障し、思考力が育まれるように配慮されている。また、話形を示し、児童自身の言葉が引き出せるような工夫がされている。 ④ 意図的にモノクロ写真を使用し、想像する楽しさ、実際の色を見て知る楽しさを実感させている。子どもの感性を刺激し、創造性・表現力を育む紙面の工夫がされている。 ⑤ 話し合い方や発表の仕方をわかりやすく示し、交流・発表活動において、児童の言語能力が育まれるように配慮されている。また、「せいかつことば」を設け、児童の語彙力向上とともに、豊かな表現力の育成、表現活動の充実を図っている。 ⑥ 子どもの意識に沿って季節の流れを活かした単元構成になっている。自然だけでなく暮らしの様子からも季節の変化を感じ、活動に活かす流れを大切にしている。 ⑦ 見開きごとに活動内容を整理し、何をすれば良いのかを分かりやすく示している。児童目線の写真やイラストを多く掲載し、児童自らがやってみたいと思う気持ちを引き出し、具体的な体験や活動が実現されるように工夫している。 ⑧ 安全教育、道徳教育との関連、外国語教育への対応、カラーユニバーサルデザインなど現代的な課題に向き合う内容も分かりやすく掲載されている。 | | |
| 2 程度・選択・取扱について | <ul style="list-style-type: none"> ・ 単元を構成するにあたり、児童の発達段階に応じて学習への意欲を持つことができるように考慮されている。特に、スタートカリキュラムである「たのしいよ1ねんせい」では、入学後の生活をイメージを広げられる内容となっている。 ・ 身体表現やカード・歌・劇化など様々な表現方法を紹介している。カードは様々な形式の物を例示し、児童にとって使いやすいものを個に応じて選択できるように配慮されている。 ・ 上下各巻末を始め、子どもの興味・関心を踏まえた豊富な学習資料「がくしゅうどうぐばこ」等を掲載し、子ども一人ひとりの「知りたい」答える教科書になっている。 ・ 「きもちマーク」を新設し、入学直後の子どもにも無理のない振り返りを可能にしている。その後、自分で表情を描くように工夫されている。 ・ 季節の流れに沿った大単元構成で、児童の意識に沿って無理なく季節と活動を結び付けることができるように工夫している。 | | |
| 3 組織・配列等について | <ul style="list-style-type: none"> ・ 学習活動は季節を中心に単元が構成されている上、個々の活動単元の組み替えが容易にできるように工夫されている。また、児童の興味・関心呼び起こし、活動意欲をもたせるような関連教材を豊富に掲載し、選択しやすいように配慮されている。 ・ 生活科を中心としたスタートカリキュラムの編成が可能となるよう、情感冒頭部分では合科的・関連的な指導や弾力的なカリキュラム編成ができるよう、他教科マークを記載した紙面を工夫している。 ・ 子ども一人ひとりの好奇心を起点にした活動の展開に留意し、ICTの活用、他者との協働的な学びを通すことで探究的な学びが実現する学習の流れを工夫している。（上下巻共に表紙・本文内に二次元コードを配置。）単元内ではICT機器及びインターネットを活用した活動を想定し、使用場面をイラストや写真で示唆している。 ・ 生活科で活動する内容が、SDGsの目標と関連していることを解説したページを設け、理解を深めるように工夫している。 | | |

令和6年度使用 (小 学 校) 教科用図書調査研究報告書

| | | 種 目 | 生 活 |
|--------------------------------|---|----------|-----|
| 教科用図書の記号・番号・名称 | | 発行者名 | |
| 1 2 年 | | 学校図書株式会社 | |
| 生活121 みんなとまなぶ しょうがっこう せいかつ上 | 生活122 みんなとまなぶ しょうがっこう せいかつ下 | | |
| 観 点 | 調 査 の 結 果 | | |
| 1 内容について | <p>・ 上下巻を通して、小観点の「季節の変化と生活」「自然や物を使った遊び」「動植物の飼育・栽培」「生活や出来事の流れ」が重視されており、目標・内容に適合している。</p> <p>① 写真や挿絵が多く使われ、活動内容や流れが分かりやすく表現されている。校内の施設の役割、基本的な約束から、次に働く人に着目させ、自分達の学校生活はたくさんの人で守られていることに気付く構成になっている。</p> <p>② 学校外での活動が主となるが、学校での情報交換や学び合いを大切にしている。家の仕事に挑戦する中で、より成長した自分に自信をもち、また頑張ろうという気持ちとともに「ありがとう」という感謝の気持ちを忘れない構成になっている。</p> <p>③ 下巻最初の単元として、計画→実行→振り返りといった学び方が明確に分かるような展開になっている。地域の祭りや行事への参加、地域の施設などの具体例を示すことで、自分の地域へ目を向け、それを生かした活動に結び付くよう配慮されている。</p> <p>④ 公共の施設の利用方法やマナーが写真やイラストで示されている。子供達が地域・社会の一員と感じ、より良く社会のために行動をしていけるよう配慮されている。</p> <p>⑤ 上巻では季節ごとの定点写真、下巻では季節ごとの町の様子のイラストや各地の行事の写真を掲載し、四季の変化に気付けるよう配慮されている。</p> <p>⑥ 身近なものを使ったおもちゃが豊富に掲載されている。工夫したり改善したりする様子を示すことで、活動の良さや大切さに気付く、自分達の遊びや生活をより良くしていけるよう配慮されている。</p> <p>⑦ 栽培・飼育ともに、「ものしりノート」や「ものしり図かん」で多様な野菜や動植物を扱っており、準備や世話の仕方が詳しく紹介されている。観察では、くらべる・たとえる・数えるといった科学的な見方ができるように配慮されている。</p> <p>⑧ 各単元の活動で地域の人々、異学年や幼児、高齢者など多様な人々との関わりが盛り込まれており、活発な言語活動が行えるよう配慮されている。巻末の『学び方図かん』では、伝え合う手段として、はなす・書く・はっぴょうするが分かりやすく示されている。</p> <p>⑨ 上下巻ともに成長単元が設定されており、上巻では家の人に感謝の気持ちをもつと同時に、自分のできることをこれからも続けようとする意欲がもてるようになっている。下巻では、前の自分はどうかだったかを思い出すことで、より一層自分の成長や周りの人との関わりが感じられるよう構成されている。</p> <p>・ 各単元冒頭では、子どもの思いや願いを喚起する台詞やテキストを示すことで、活動への必然性をもたせ、子ども自身が決める自己決定の場を大切に、自らが解決していくことを促す構成になっている。</p> <p>・ 単元末に「もっと」ページが配置されており、単元が終わった後も学んだことを生かして意欲的に活動を継続・発展できるように工夫されている。</p> | | |
| 2 程度・選択・取扱について | <p>・ 活動や体験の場が、上巻では学校や学校の周辺、下巻では地域へと広がっており、子どもの発達段階に配慮されている。「探検単元」「飼育単元」「遊び単元」どれも、子どもの発達段階や特性を踏まえ、2学年間を見通した学習活動が設定されている。</p> <p>・ 子どもの自発的なリード文や、活動の楽しさと熱気を伝える写真やイラスト、親しみやすい4人のキャラクターと適切なふきだしなど、子どもの「自分でもやってみよう」という主体的な活動意欲が引き出されるよう工夫されている。</p> <p>・ 『ものしりノート』や『ものしり図かん』などの資料ページが充実しており、子どもが自分で活動を広げていけるよう配慮されている。</p> <p>・ 上下巻末に『学び方図かん』が設けられ、子どもたちが必要に応じて活動の参考にできるよう配慮されている。また、写真や動画を撮る際の注意や約束、インターネットの使い方掲載されており、ICT活用への配慮がなされている。</p> | | |
| 3 組織・配列等について | <p>・ 単元内の活動は、基本1活動1見開き単位で構成されており、見開き右下では次の活動へ繋げていく場面を示しているため、次の課題設定に無理がない。</p> <p>・ 登場する4人のキャラクターやその友達、先生を1人のイラストレーターが通して描いており、絵本のようにストーリーが読み取りやすい構成となっている。またストーリー性を持たせ、単元ごとに主となるキャラクターを設定することで、友達や周りとの関わり合いながら変容し、成長していく様子が分かりやすい構成となっている。</p> <p>・ 時系列的に活動時期を限定せず、地域や学校、子どもの実態に応じて、学習時期を組み替えたり、軽重を付けて指導したりすることができる柔軟な構成となっている。</p> <p>・ 上巻の冒頭には、『はじまるよ しょうがっこう』と『がっこうたんけん』が設けられ、入学したばかりの子どもが学校生活にスムーズかつ安心して適応できるよう配慮され、スタートカリキュラムとして明確に位置づけられている。</p> | | |

令和6年度使用（小学校）教科用図書調査研究報告書

| | | 種 目 | 生 活 |
|-------------------------|--|----------|-----|
| 教科用図書の記号・番号・名称 | | 発行者名 | |
| 1・2年 | | 教育出版株式会社 | |
| 生活123 せいかつ上 みんな なかよし | 生活124 せいかつ下 なかよし ひろがれ | | |
| 観 点 | 調 査 の 結 果 | | |
| 1 内容について | <ul style="list-style-type: none"> ・ 上下巻を通して、小観点の「季節の変化と生活」「自然や物を使った遊び」「動植物の飼育・栽培」「生活や出来事との交流」が重視されており、目標・内容に適合している。 ① 学校や通学路を歩き、そこにいる人々や施設にあるものと、直接、繰り返し関わる単元が設けられている。 ② 家庭生活は互いに協力し合うことで成立していること、自分も家庭を構成している大切な一人であることなどがわかり、それらを友達と伝え合う活動が充実している。 ③ 主体的に取り組めるように、探検計画例や地図を活用した記録例、グループでの意見交換などが丁寧に示されている。 ④ 公共物や公共施設を利用して、よさを実感し、役割や機能を自分の生活とつなげて捉えたり、幼児、高齢者、障害のある人など、多様な人々が利用していること、工夫やよさがあること、それを支える人々などに気付く構成になっている。 ⑤ 同じ町並みの挿絵で、季節の移り変わりを比較しながら興味関心を喚起し、自主的な探検活動ができるように工夫されている。また、四季折々の地域の行事に参加することを促す写真が掲載されている。 ⑥ 身近な自然物や自然の事象を利用して遊んだり、不要になった物などで遊ぶものをつくったり、場所自体のもつ特徴を生かして遊んだりする単元や学習活動が充実している。 ⑦ 動植物が変化し成長していること、生命をもっていること、生命の大切さ、動植物の特徴、育つ場所、世話の仕方、成長の様子、自分自身の世話の仕方や世話してきた心の変容などが、カードに丁寧に例示され、生命あるものとして世話しようとする意欲を育む構成になっている。 ⑧ 各単元に、考えたことや学習したことを、友達や先生と伝え合う特設ページ「何をかんじたかな」が設けられ、交流内容、交流方法が具体的に豊富に示されている。 ⑨ 上巻では1年間を振り返る単元で、下巻では成長を振り返る単元で扱われている。心身の成長、技能の習熟、自分の役目が増え役目を果たすことができるようになったことなどに気付くことができるような例示と学習活動が充実している。 ・ 各単元に、振り返りの活動「何をかんじたかな」が設けられている。気付いたことや考えたこと、楽しかったことなどについて、言葉、絵、動作、劇化、ICT機器の活用などの多様な方法によって、他者と伝え合ったり、振り返ったりする活動が繰り返し例示されている。 ・ 単元導入「わくわくスイッチ」や単元を貫く「はっけんロード」、試行錯誤を促す「かんがえまとめいろ」、振り返りを助ける「ぐんぐんはしご」が設けられ、学び方を身に付けて主体的な学びが展開できるような工夫が豊富になされている。 | | |
| 2 程度・選択・取扱について | <ul style="list-style-type: none"> ・ 上下巻を通して、二人の主人公の表現活動が例示されており、第1学年の表現内容と、社会科や理科、総合的な学習の時間などに接続する第2学年の表現内容とは、質・内容ともに高まり深まっていく構成になっている。 ・ イラストや写真の中に、障がいのある児童や外国にルーツがある児童が描かれており、お互いを尊重して学び合うことを大切にしていることが読み取れる。 ・ ICT機器を使用した学習活動が豊富に掲載されている。「まなびリンク」コンテンツには、動植物の図鑑、ワークシート、学び方を示した動画があり、一人一台端末に対応して、個別最適な学びや協働的な学びができる工夫がなされている。 | | |
| 3 組織・配列等について | <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校から地域への活動の広がりや、諸感覚を使った自然体験から自然のもつ力について考える思考の高まりなど、上巻から下巻へと発達段階に応じて、児童の行動範囲や気付きが広がっていくように配慮されている。目次には「月」が示され、活動の時期の目安となっている。 ・ 特に重点を置いて発揮すると効果的な「力」が、各小単元（各活動）にサイコロで示され、「めあて」をもって学習に取り組むことができるように工夫されている。 ・ 「幼稚園教育指導要領」の「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」がイラストで描かれ、小学校生活の同じ姿が写真で掲載され、幼児期の総合的な学びが、生活科を中心に各教科に円滑に移行することが表現されている。「スタートカリキュラム」の編成方法も具体的にイメージできる構成となっている。 ・ 「はってん」で理科、社会科とのつながりが明示され、3年生の学習を見に行き活動が設けられているなど、接続に十分配慮された構成となっている。また、学習の基盤となる知識や技能を掲載した「学びのポケット」では他教科との学習をつなげ、カリキュラムマネジメントをサポートする工夫がなされている。 | | |

令和6年度使用 (小 学 校) 教科用図書調査研究報告書

| | | 種 目 | 生 活 |
|------------------------------------|--|-----|------|
| 教科用図書の記号・番号・名称 | | | 発行者名 |
| 1・2年 | | | 光村図書 |
| 生活127 せいかつたんけんたい 上 はじめてがいっぱい | 生活128 せいかつたんけんたい 下 はっけんだいすき | | |
| 観 点 | 調 査 の 結 果 | | |
| 1 内容について | <p>① 学校探検では、会話文をヒントに児童の思考に沿って、気付きの質がたまるような言葉がけが示されている。また、通学路の様子など、絵を使い場面を想像しやすいよう配慮されている。</p> <p>② 季節の変化を公園や商店街などで比べたり、日本の伝統行事やお祭りなどを紹介したりして季節の変化に気付くことができるよう工夫されている。</p> <p>③ 草花や木の実など季節の物を使い、様々なおもちゃで遊びを広げながら、工夫して取り組めるよう工夫されている。</p> <p>④ 多様な植物の種子や発芽、野菜の成長の様子を比べたり、生き物の飼育の仕方を扱ったりすることにより、動植物への関心・意欲を高めるよう工夫されている。</p> <p>⑤ 活動ごとに振り返りの設問があり、それを用いて自分の学びを振り返ることができるように工夫されている。また、「こんなことはあったかな」のコーナーがあり、児童が学びや気付きを深めることができるようになっている。</p> <p>⑥ 通学路で安全を守ってくれる人や、町探検で出会う人など、児童自身と地域の人々との関わりを深める活動を豊富に示し、多様な活動場面や、様々な学習材を取り上げており、地域の実態に合わせるよう配慮されている。</p> <p>⑦ 単元扉のページには見開きの写真・イラストのページがあり、活動をイメージして児童の思いや願いが広がるよう工夫されている。活動の見通しをもつきっかけとなるように問いかけの文が設定されていて、学習計画を立てるときの参考になる。</p> <p>⑧ 人気絵本作家ヨシタケシンスケさん挿絵を用いたコーナーが各ページにあり、楽しみながら読むことができる。また、児童たちが自分らしく学ぶことの大切さを知ることができるよう工夫されている。</p> | | |
| 2 程度・選択・取扱について | <p>① 上巻「いちねんせいのはじまるよ」では、入学当初の生活の様子を豊富に写真を用いて紹介し、子どもたちが安心感と自信、期待感をもって学校生活を始めることができるよう配慮されている。低学年児童にとって、身近で親しみやすい対象や、興味・関心がもてる活動例が取り上げられている。</p> <p>② 取り外せる別冊資料「ひろがるせいかつじてん」では、単元に即した資料や汎用的なスキルを扱った資料がまとめられている。授業のねらいや児童に必要なに応じて活用でき、本編の「みて！」マークと関連つけて学びがつながるよう意識されている。</p> <p>③ 学習の展開の部分では学び方のヒントとして、試行錯誤のポイントが分かるよう手掛かりを写真で示している。どんな活動をすれば学びが広がるのかが一目で分かるようになっている。</p> | | |
| 3 組織・配列等について | <p>① 活動のまとめりごとに細かく単元が設定されているため、指導の順序を柔軟に入れ替えることができるよう配慮されている。</p> <p>② 上巻では入学当初の児童に向けて、写真や絵の表記を多くし、下巻では、総合的な学習の時間に向けて、自ら課題を設定し探求する内容を盛り込むなど、幼稚園・保育園、更に三年生との関連に配慮されている。</p> <p>③ 上下巻を通して、季節ごとに自然との触れ合いや動植物に関する単元を取り入れることで理科との関連を図っている。また、動植物の種を数えることで算数、動くおもちゃ作りで図工、理科との関連が図られている。</p> | | |

| | | 種目 | 生活 |
|--------------------|---|--------------------|------|
| 教科用図書の記号・番号・名称 | | | 発行者名 |
| | | 1 | 2年 |
| 生活129 わくわくせいかつ上 | | 生活130 いきいきせいかつ下 | |
| 啓林館 | | | |
| 観点 | 調査の結果 | | |
| 1 内容について | <p>① 学校探検では、導入での学校にある物の予想や、写真や吹き出しなど児童の意欲が高まるよう工夫されている。また、見つけたことを発表するという活動を取り入れ、発表の仕方も例示されているので、意欲的にかつ主体的に取り組めるよう工夫されている。さらに、校庭や学校の周りにある物、通学路や学校の近くの遊び場へ探検に行く活動を通し、安全に配慮した内容も取り入れるなど配慮されている。</p> <p>② 公園での自然や季節の遊びの変化を感じたり、日本各地の四季折々の伝統的な行事やお祭りを扱ったりして、身近なところから視野を広げて季節を感じとることができるように工夫されている。</p> <p>③ 季節ごとの発見や特色を生かした遊びの他にも、木の実や身近な材料を用いた遊びについて段階的に示されている。それぞれ試行錯誤を繰り返し、遊びを広げ、さらに深められるよう工夫されている。</p> <p>④ 様々な種や花、野菜を扱ったり、生き物に親しんだりして、児童の気づきや疑問を取り上げ、よりよく実践につなげることができるよう工夫されている。</p> <p>⑤ 自分の成長を振り返り、お世話になった家族や周りの人に感謝の気持ちを表し、伝え合う活動を通して、自己肯定感をもてるよう工夫されている。</p> <p>⑥ 単元導入は、「わくわくのタイム」構成され、大きな写真や問いの文から主体的に学びの見通しをもつことができるよう工夫されている。主たる活動「いきいき」の頁では、気付いたことを基に考えるための、多様な学習活動の例を、写真・イラスト・児童の台詞などで示し、気付きの質を高めるよう工夫されている。また、「まなびのひんと」、「こんなときどうしよう」の項目が、深い学びにつながるよう配慮されている。振り返りの活動「ぐんぐん」では、様々な表現活動が組織的・系統的に設定され、イラストで分かりやすく例示されている。「できるかなできたかな？」や「ひろがるきもち」のコーナーでは、学習過程や成果を振り返り、学びの深まりを実感することで、次の学習や生活に活かせるよう配慮されている。</p> | | |
| 2 程度・選択・取扱について | <ul style="list-style-type: none"> 上巻の「がっこうだいすき あいうえお」では、写真と絵を豊富に取り入れ、学校での生活の様子をわかりやすく提示し、幼児期における遊びを通した総合的な学びから、各教科等における学習に円滑に移行できるよう配慮されている。 各単元ごとの扉のページに、児童が笑顔で活動している写真を掲載し、学習への関心・意欲が高まるよう配慮されている。また、単元導入の「わくわくボックス」では、実物大図鑑や書き込みができるページなどを設け、児童の興味・関心を高めることができるよう配慮されている。 上下巻の巻末に、「がくしゅうずかん」を設け、児童の活動をより広げ、深めるものとして発展的な内容が取り上げられている。 下巻の「3ねんせいへのステップブック」では、キャリア教育の手がかりとなる内容を取り上げ、中学年以降の学習へ円滑に接続できるよう工夫されている。 | | |
| 3 組織・配列等について | <ul style="list-style-type: none"> 各単元の流れを導入（わくわく）、活動（いきいき）、振り返り（ぐんぐん）の三段階で表示しており、段階的な学習活動が行えるよう配慮されている。 単元が大きくゆったりとしたくりとなっており、年間活動計画には「ゆとり」が組み込まれるなど学校や児童の実態に合わせた工夫ができるよう配慮されている。 上下巻ともに「きせつだより」が設けられ、家庭や地域でも自主的に活動を発展させることができるよう工夫されている。 「こんなときどうしよう」のコーナーでは、挨拶やマナーなど道徳教育との関連に配慮されている。 ウェビング法やYチャート法を用いた板書が掲載され、総合的な学習の時間との関連が図られている。 | | |

令和6年度使用小学校用教科用図書

調査研究資料

(報 告 書)

音 楽

鹿沼市立小中学校教科用図書調査員会

令和6年度使用（小学校）教科用図書調査研究報告書

| 教科用図書の記号・番号・名称 | | | | | | 種目 | 音楽 | 発行者名 |
|----------------|---|-------------|-------------|-------------|-------------|----|----|--------------|
| 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | | | 株式会社 教育出版 |
| おんがくのおくりもの103 | 音楽のおくりもの203 | 音楽のおくりもの303 | 音楽のおくりもの403 | 音楽のおくりもの503 | 音楽のおくりもの603 | | | |
| 調査の結果 | | | | | | | | |
| 観 点 | | | | | | | | |
| 1 内容について | <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの主体性を生かす活動や、歌詞の内容に忠実な写真、紙面内容の視認など、子どもが自ら学習へ向かえるようにデザインされた教科書である。折り込みを使ったワイドな紙面で歌詞に忠実な写真を追求してある。 ・常時活動でできる即興的に表現する活動を随所に掲載してある。 ・曲の魅力について気付きを書き留めるメモ欄があり、学んだことを記録として残すことができる。 ・音楽づくりでは、文字やイラスト、活動例を適切に示しながら、「このような音楽をつくりたい」という自分なりの、創造性を発揮できるような紙面構成がされている。 ・鑑賞では、音楽との一体感を味わい、想像力を働かせながら音楽と関わることができるように、体を動かす活動が掲載されている。 ・2年生以上では、「スキルアップ」で、ハンドクラップや早口言葉、ボディサウンド等、楽しみながら歌声とリズムのトレーニングができるよう、独自の教材開発がなされている。 ・低学年においては、身体を生かした様々な学習活動により、理解しやすく、深い学びに繋がるようになっている。 | | | | | | | |
| 2 程度・選択・取扱について | <ul style="list-style-type: none"> ・学習の振り返り表すマークが明示しており、巻末折り込みに資料が豊富に掲載され、資料の活用により着実に基礎・基本が身に付くように配慮されている。 ・輪唱やパートナーソングなどが豊富に取り入れられ、合唱の導入的な学習に配慮されている。 ・鍵盤ハーモニカやリコーダーの導入では、各8ページが割かれ、細やかなステップアップで扱われている。 ・リズム、音域、歌詞の内容など、各学年にふさわしいグレードの教材が見極められており、その配列も発達段階にふさわしく系統的に配置されている。 ・第1学年の導入で、児童が幼児期に触れた経験があると考えられる教材群がイラストで示されたり、わらべうたを扱ったりすることで、スタートカリキュラムを意識した幼児教育や生活科との連携がはかられている。 ・現代の児童の生活や心情に即した教材を取り上げたり、写真・学習に関連したWEB上の資料を効果的に用いたりして、児童の主体的な学びを引き出すよう配慮されている。 | | | | | | | |
| 3 組織・配列等について | <ul style="list-style-type: none"> ・系統性のある題材の配列で、どの子どもにとっても楽しめるように工夫されている。また、資質・能力を育みながら、子どもたちの学びが深まるよう、構成に配慮されている。 ・子どもたちが思いや意図を生かして、学習活動の系統性や発達段階に配慮されている。 ・「音楽の見方・考え方を働かせながら、資質・能力を育む題材」、「生活や社会と音楽との関わりを扱う題材」、「主体的・共同的に表現を楽しむ題材」の3つが、6年間の題材の系統的に、構成させられている。 ・低学年の音楽づくりでは、リズムによる音楽づくりを行ってから、旋律づくりの活動を行うという展開になっているため、子どもの活動が発展させやすい。 ・主要部分の教材と音楽ランド部分の教材を組み合わせることによって、学校や児童の実態に応じて題材を扱えるように配慮されている。 ・各学年を通した領域・分野ごとの系統性に基づいて教材が配置され、発達段階に応じた無理のないステップアップや学力に定着に配慮されている。 | | | | | | | |

| 種 目 | | | | | | 音 楽 |
|------------------------|--|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|-------|
| 教科用図書の記号・番号・名称 | | | | | | 発行者名 |
| 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 教育芸術社 |
| 音楽104 小学生の おんがく1 | 音楽204 小学生の 音楽2 | 音楽304 小学生の 音楽3 | 音楽404 小学生の 音楽4 | 音楽504 小学生の 音楽5 | 音楽604 小学生の 音楽6 | |
| 観 点 | 調 査 の 結 果 | | | | | |
| 1 内容について | <ul style="list-style-type: none"> ・表現と鑑賞の各活動において、「何を学ぶか」、「何ができるようになるか」が明確にされ、児童が主体的に音楽を学べる手だてがされている。具体的には、3つの観点「考える」(思・判・表)「見つける」(知識)「歌う・演奏・つくる」(技能)をどのように学ぶかを示すことで、子どもたちの主体的な活動を引き出せるように工夫されている。 ・鑑賞では、音楽の楽しさや美しさに気づき、感動する心を育てる観点から、聴くねらいをわかりやすく示している。また、楽譜の一部や音の動きを表した表と、感じたことや気付いたことを書き込みできる表が見開きで記載されている。 ・教材を指導する際の目安となる、「共通教材」に示された音楽を形づくっている要素がページ右下に示され、「共通事項」を意識した学習の手助けになるように工夫されている。 ・教科の特性を生かし多様性を理解するために、世界の様々な地域の声や楽器、日本の伝統的な楽器などの鑑賞教材が精選されている。 ・音楽づくりでは、児童が、「何を」「どう工夫して」音楽を作ればよいのかという見通しを持てるように、作品例や様々なアイデアの例示がされ、思考・判断しながら、主体的に学習に取り組めるよう工夫されている。また、題材構成や表記の仕方が工夫されており、活動の手順が簡潔に示されている。 ・キャラクターの吹き出しの言葉により、具体的な学習の流れやヒントを示し、児童が主体的・発展的活動ができるように配慮されている。 ・音楽と生活のつながりや、郷土の音楽を身近に感じられるような、写真や活動が取り入れられている。 ・共通教材を「こころのうた」として掲示し、説明や情景写真を掲載することにより、日本の自然や四季の美しさを味わい、感受性を働かせながら歌えるよう配慮されている。 ・我が国の郷土を愛する心を育成することができるように「歌いつごう日本の歌」で、古くから親しまれている日本の歌を紹介したり、裏表紙に「祭りと楽器」の写真を掲載したりして、日本の音楽がより身近に感じられるよう配慮されている。 | | | | | |
| 2 程度・選択・ 取扱い | <ul style="list-style-type: none"> ・低・中・高学年の発達の段階を踏まえて、児童の基礎的・基本的な知識や技能の定着が図られるようになっている。 ・歌唱や器楽の技能については、発達の段階を考慮した無理のないステップが踏まれている。 ・作詞者や、演奏家のメッセージ、楽曲にまつわるコラムが掲載されており、児童の興味・関心や学習意欲を高めることができるよう配慮されている。 ・「みんなで楽しく」のコーナーでは、学んだことを生かし、理解を深めることができるよう、発展的な曲が取り上げられている。授業以外の学校行事等で合唱や合奏を発表するのに適した曲が扱われている。 ・「チャレンジ」コーナーが設けられており、鑑賞や音楽づくりから発展した活動を行うことができるよう配慮されている。 ・教育出版よりも、教材の難易度がすべての児童が取り組みやすい難易度で、児童が意欲的に取り組めると考えられる。 | | | | | |
| 3 組織・配列・ 分量について | <ul style="list-style-type: none"> ・相互に関連性を持った教材の配列により、積み重ねの学習や繰り返しの学習を行いやすく、音楽活動の基礎的な能力の定着・伸長が着実に図れるように配慮されている。 ・歌唱において、低学年では交互唱や輪唱、中学年では二部合唱に向けた段階的な教材、高学年では部分三部を含む音の重なりを意識した教材が取り上げられており、学年が上がるごとに徐々に学習が深まるように配慮されている。 ・巻頭にある「学習マップ」では、年間を通した学習の見通しをもてるようになっており、「振り返りのページ」では、学習したことをいつでも確認できるようになっている。 ・1年生の導入ページにおいて、聴こえてくる音楽に合わせて体を動かしたり、知っている歌と一緒に探して教え合ったり、ペアやグループで体を動かしながら歌ったりする活動が取り入れられており、無理なく段階を踏んで音楽的な学習へ移行できるように配慮されている。 ・子どもたちの発達段階に応じて「音楽的な見方・考え方」を働きかせながら学習を積み重ね、6年間の系統性がもてるよう工夫されている。 | | | | | |

令和3年度使用小学校用教科用図書

調査研究資料

(報 告 書)

図画工作

鹿沼市立小中学校教科用図書調査員会

| 教科用図書の記号・番号・名称 | | | | | | 発行者名 |
|------------------------------------|---|----------------------------------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|-----------|
| 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 開隆堂出版株式会社 |
| 図工105 ずがこうさく 1・2上 わくわくするね | 図工106 ずがこうさく 1・2下 みつけたよ | 図工305 図画工作 3・4上 できたらいいな | 図工306 図画工作3・4下 力を合わせて | 図工505 図画工作5・6上 心をひらいて | 図工506 図画工作5・6下 つながる思い | |
| 観 点 | | | | | | |
| 1 内容について | <ul style="list-style-type: none"> ・「造形遊び」「絵や立体」「工作」「鑑賞」の各領域について、児童の発達段階が細かく配慮されており、題材で使用する道具や材料が見やすく紙面上部に示されている。また、教科書紙面に掲載されたQRコードを通して、制作の手順やポイント、用具の使い方の動画を見ることができるので、作り方が分かりやすく児童が安心して制作に取り組むことができる。 ・「造形遊び」について、五感をのびのびと使い、材料や用具と関わることにより生まれた表現を他者のつぶやきを刺激として、試行錯誤する場面が掲載されている。 ・「絵や立体、工作」について、児童作品の制作意図が掲載されている。また、他者との関わりから刺激を受けて表現を豊かにする場面が掲載されていることで、コミュニケーションを通して、自分の思いを深めることができるよう工夫されている。 ・「鑑賞」について、制作する活動の後に、関連する鑑賞の活動を位置付けている。 ・文字が誰にでも読みやすいユニバーサルデザインフォントが使用されている。 ・「鑑賞」において、言語活動を充実させられるような着眼点が多く掲載されている。児童が主体的に鑑賞できるように工夫されている。 ・主体的・対話的で深い学びの実現に向けて、表現内容の構成を捉えることができるように、題材における活動の手順が示されており、児童が見通しをもって学習し、その後、学習の振り返りができるように工夫されている。また、児童作品を互いに鑑賞することができるような場面が掲載され、児童のつぶやきを参考にしながら言語活動の充実が図られるように工夫されている。 | | | | | |
| 2 程度・選択・取扱について | <ul style="list-style-type: none"> ・基本的な技法や材料、安全事項、製作手順などを枠で囲んで示し、児童が活動を安全に進めていく上での配慮がなされている。掲示の仕方や片づけについても示してあり、指導上の参考にできる。 ・発達段階に応じた児童の興味・関心を高める配慮として、楽しそうに笑顔で製作する児童の写真やつぶやきの吹き出しを掲載し、児童の気持ちを惹き付ける工夫がされている。 ・補充的、発展的な学習について、既習学習の内容が次題材で生かされており、題材と題材のつながりが意識され、発展的な学習ができるように工夫されている。 ・巻末資料「ひらめきショートチャレンジ」では、形や色に対する見方・考え方を働かせ、次の題材の表現に生かせるよう配慮され、発想や構想の能力を培う参考資料となっている。 ・SDGsの取り組みとしてR2年度版と比べて、題材で使用するプラスチック材の削減に努めている。 | | | | | |
| 3 組織・配列等について | <ul style="list-style-type: none"> ・構成や配列の系統性について、題材のねらいに沿って使用する題材や用具が学年を追うごとに深まるように位置づけられているので、全学年の学びを生かしながら児童が学びを重ねられるように配慮されている。 ・1、2年上巻では、就学前の体験や幼児教育との接続を図ることができるよう配慮されている。また、5、6年下巻では、小学校の学びを中学校の学習や生活で生かされるような内容を掲載し、中学校への接続を意識した内容になっている。 ・「みんなのギャラリー」のページを設け、地域の取り組みや伝統美術について触れることにより、社会に関わりながら生きる態度の育成を目指す工夫をしている。 ・他教科・他領域との関連について、教科書下部に他教科・他領域に関連する内容を掲載し、教科横断的な学びを図ることができるよう工夫されている。 ・題材が、児童の発達の段階に応じて、系統的にバランスよく配列され、新学習指導要領の育てたい資質・能力の三つの柱「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」を踏まえたものになっている。 | | | | | |

令和6年度使用（小学校）教科用図書調査研究報告書

| | | | 種目 | 図画工作 |
|--|--|--------------------------------------|----------------|------|
| 教科用図書の記号・番号・名称 | | | | 発行者名 |
| 1年、2年 | 3年、4年 | 5年、6年 | 日本文教出版 株式会社 | |
| 図工107・108 ずがこうさく1・2 上下 まるごとたのしもう | 図工307・308 図画工作3・4 上下 ためずを見つける | 図工507・508 図画工作5・6 上下 わたしとひびき合う | | |
| 観 点 | 調 査 の 結 果 | | | |
| 1 内容について | <ul style="list-style-type: none"> 各題材に学習のめあてが明確に3観点で示されている。題材の導入時には児童に見通しを立てさせるのに役立ち、意欲をもたせることが出来る。 発想豊かな参考作品や、活動する写真を中心に掲載され、それらを参考にすることで児童が自分のアイデアを考えやすくなるよう工夫されている。 「鑑賞」を重視し、「友達の作品を見て話そう」や「感じたことを伝え合おう」のページを設けて、自分や友達の感じ方や、作品と作者の思いを大切にすることができるよう配慮されている。 言語活動の充実への配慮が見られ、活動の中から自然に言葉が生まれてくるためのヒントが意図的に示されている。 「アートかるた」や「まねっこゲーム」などのコーナーを設け、創造し続けることの楽しさや大切さを示している。 各題材に「ふりかえり」の視点を示し、児童が各自で振り返りが行えるように配慮されている。 | | | |
| 2 程度・選択・取扱について | <ul style="list-style-type: none"> 各題材にQRコードを示し、活動の流れの動画や作品例や資料を見ることができ、苦手な児童も取り組みやすい。 各学年とも作品例には、作者の作品に対する思いが添付されており、そこから発想や構想につながるよう工夫されている。 巻末の数ページに「材料と用具の引き出し」のページが位置づけられており、各学年で系統立てて扱いやすい。特に「材料と用具」については学年で重点的に扱うものについてポイントを捉えやすく児童が自ら学べるような構成になっている。 「教科書の使い方」や「図画工作をもっと楽しむためのページ」では、ページを開いて大きくみられるようになっており、系統立てて考えたり、ダイナミックに鑑賞したりできるよう工夫されている。 | | | |
| 3 組織・配列等について | <ul style="list-style-type: none"> 各題材で扱う材料や用具の取り扱いについて、各学年で統一された「かく」「きる」などの表示によって技法の種類ごとにまとめられており、取り扱うことができるよう工夫されている。 「きをつけよう」「かたづけ」のコーナーが題材によって設定され、安全や環境について配慮すべきことがわかりやすい言葉で示されている。 どの学校でも取り扱えるような、題材や材料を幅広く紹介している。屋内や屋外で活動ができるよう配慮されている。また、季節や身近な自然素材に目を向けるような題材も設定されている。 「つながる図工」のコーナーでは、活動後の作品の活用方法についても示されている。 | | | |

令和6年度使用小学校用教科用図書

調査研究資料

(報 告 書)

家 庭

鹿沼市立小中学校教科用図書調査員会

| | | | | | | 種 目 | 家 庭 |
|--------------------|----|--|----|-------------------|-------------------|--------------|------|
| 教科用図書の記号・番号・名称 | | | | | | | 発行者名 |
| 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 東京書籍株式 会社 | |
| | | | | 家庭503 新しい家庭5.6 | 家庭503 新しい家庭5.6 | | |
| 観 点 | | 調 査 の 結 果 | | | | | |
| 1 内容について | | <ul style="list-style-type: none"> ・全体的に学習指導要領の趣旨が生かされ、児童の発達段階や実態に応じて内容が段階的に取り扱われている。単元の導入において意欲を高め、児童が興味をもって学習に取り組めるような内容となっている。 ・全学習項目で、問題解決的な学習が繰り返し行えるよう、題材を1見つめよう、2計画しよう・実践しよう、3生活にいかそう・新しい課題を見つけようのステップに分けて構成している。 ・「家族・家庭生活」の学習では、児童の生活の基盤となる考えから、すべての大題材で家族や家庭生活と結びつくように配慮されている。学習した知識や技能をもとに、生活の中で生かす視点が入っていたり、家族のための製作事例を示したりしている。 ・「衣食住の生活」 食生活の献立作成や調理の学習では、複数の献立例を示したり、環境に配慮しながら買い物や調理をするという視点を示したりと食生活をよりよくしようとする実践的な態度が育成できるように工夫されている。 衣生活では、第5学年で手縫いやミシンを使った簡単な物の製作を通して、基礎的・基本的な知識・技能を習得し、第6学年で生活を豊かにするための布を用いた製作として、物を入れるための袋を扱うなど、段階的に題材が組まれている。製作を通して、衣生活を楽しく豊かにできるよう配慮されている。 住まい方では、第5学年で身の回りの整理整頓や掃除の必要性、掃除の仕方を学習し、第6学年で涼しい住まい方と暖かい住まい方を扱っている。快適な生活の工夫を学習することで、問題解決的な学習ができるようになっている。 ・「消費生活と環境」の学習では、5年生の早い段階で取り組むことができるように配慮されている。また、日常生活における消費者としての態度を考えられるように献立の材料の準備をリンクさせるなど、衣や食の内容を結び付ける視点を入れている。 | | | | | |
| 2 程度・選択・ 取扱について | | <ul style="list-style-type: none"> ・すべての大題材の導入時に、タイトル、導入発問、学習の流れを示すことで、学習の見通しが立てやすくなっている。 ・関連のある題材や資料が他のページにある場合には、「リンクマーク」で適宜参照ページが示されている。 ・調理実習や製作実習における器具・用具の扱い方・作業上の安全・衛生面など安全に注意すべき点を丁寧に解説し、「安全マーク」を配置して困りで注意を喚起するようになっている。また、巻頭に「いつも確かめよう」という衛生・安全を特集したページがある。 ・デジタルコンテンツの活用が有効な内容に「Dマーク」が示してあり、豊富なQRコンテンツがあることで、授業でICTの活用が容易である。 | | | | | |
| 3 組織・配列等 について | | <ul style="list-style-type: none"> ・学習内容・実習内容ともに基礎基本から応用へと児童の発達段階に応じて系統的に配列している。基礎技能の多くは5年で配分されている。調理実習の手順やミシンの使い方などは5年生で学んだ内容を6年生で再度使うことで、より確実な定着が図れるようにしている。 ・家庭生活を大切にすることを育むために、自分の生活や家庭の仕事を見直し、家庭の仕事に役立つ知識や技能を身につけることで、道徳教育で扱う、家族を敬愛し家族の役に立つことをしようすることに配慮している。 ・キャリア教育に対応し、勤労を重んずる態度を養うために、家庭科に関連した職業を取り上げ「プロに聞く」の囲みを示している。 ・基礎技能の確認として巻末に取り上げている「いつも確かめよう」は、左利きの児童に対する配慮がなされている。 | | | | | |

| 教科用図書の記号・番号・名称 | | | | | | | 種目 | 家庭 | 発行者名 |
|----------------|---|----|----|---------------------------|---------------------------|-----------|----|----|------|
| 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 開隆堂出版株式会社 | | | |
| | | | | 家庭504 わたしたちの 家庭科5・6 | 家庭504 わたしたちの 家庭科5・6 | | | | |
| 観 点 | | | | | | | | | |
| 調 査 の 結 果 | | | | | | | | | |
| 1 | <p>内容について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領の趣旨が生かされ、児童の実態に応じて内容が段階的に取り扱われている。各題材において、「気づく・見つける」「わかる・できる」「生かす・深める」の三つのステップで問題解決的な学習を進めることで、生活をよりよくしようと工夫する資質・能力を育むとともに、家庭や地域の一員として実践することができるよう工夫されている。 ・「A家族・家庭生活」の内容では、各学年ともに最初に位置付けられており、いずれの学年も自己の生活を見直すことから学習を始めることができるように配慮されている。さらに、家庭、地域、社会という空間的広がりから学習対象を捉えることで、家族や地域の人々とよりよく関わる実践力を育成することができるように工夫されている。 ・「B衣食住の生活」の内容では、調理の基礎や栄養を考えた食事に重点を置き、ポイントを押さえた食事作りの計画を児童自らが考えることで、知識及び技能の習得を図り、食生活をよりよくしようとする実践的な態度を育成することができるよう工夫されている。衣生活では、衣服の主な働きや季節・状況に応じた日常の快適な着方について基礎を学んだうえで、その学びを生かす活動を位置づけることにより、適切な着方を選択する力を身につけることができるよう工夫されている。住生活では、「暖かい住まい方」と「すずしい住まい方」が2学年に分かれて配列されている。温度や湿度等を調べた後、「生かす・深める」で問題解決的な学習を行うことで、季節の変化に合わせた住まい方の必要性を実感することができるよう工夫されている。 ・「C消費生活・環境」の内容では、買い物の流れが、見開き2ページの横流れで配置されており、児童自らフローチャートで選択したり、トラブルの際の「解決ヒント」を参考にしたりすることにより、実生活との関連を図りながら、必要な情報を適切に収集・整理することができるように工夫されている。 ・児童自らが見つけた課題や気づき、考えを記入できる欄や課題解決のための適切な本文の記述や資料を配置することで、主体的に課題に取り組むことができるよう工夫されている。 ・「生かす・深める」等で、児童が対話したり、友達と意見交換したりできるような学習活動を多く取り入れ、児童同士や家族、身近な人たちと関わりを通して考えを明確にすることにより、自らの考えを広げ、深めることができるよう工夫されている。 ・「食文化」では、各地域の米やみそ、器、雑煮等の伝統文化の内容を取り上げることで、児童が地域の生活文化を大切にしようとする態度を養うことができるよう配慮されている。 ・「共に生きる地域の生活」では、地域の一員として自分にできることを考えることで、地域との連携が大切であることを実感することができるように配慮されている。 ・各学年末の「できることからはじめて、持続可能な生活をつくる」や「持続化可能な社会のために」では、SDGsと関連させた内容を取り上げることで、身近なところから、環境への取組ができるよう工夫されている。 ・「買い物をしてみよう」では、支払いに使用できるカードや買い物をする際の環境に与える影響などを示すことで、考えて買い物をするよう配慮されている。 | | | | | | | | |
| 2 | <p>程度・選択 取扱について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実際の手順をイメージできるよう、調理や実習の手順を、ポイントとなる場面の写真と一緒に掲載するとともに、吹き出し等を使って児童へのアドバイスや問いかけをすることで、児童の興味・関心を引き出すことができるよう工夫されている。 ・特別支援教育の視点を取り入れ、支援が必要な児童が学習上の負担を感じることがなく学べるように、ユニバーサルデザインフォントや見やすい色使いの他、教科書の仕組みや掲載資料を工夫することで、誰にでも使いやすい、ともに学べるユニバーサルデザインになっている。調理、製作実習手順は、その全体の流れが横流れの実習手順に提示され誰もが理解しやすく工夫されている。また、製作の難易度を星の数で表すことで、児童一人一人の発達の段階や興味・関心に合わせて選択できるように工夫されている。 ・各題材の適した場所に「安全」マークが位置付けられることで、児童が安全を徹底して実習に取り組めるように配慮されている。また、「安全」マークには、食物アレルギーへの注意喚起を行うものあり、児童が食物アレルギーへの理解を深めたり、食物アレルギーのある児童が安全に実習したりできるように配慮されている。 ・巻末に、「安全と衛生に気を付けて実習しよう」の特設ページが設けられることで、児童が安全に実習することができるように配慮されている。 ・基礎技能・実習手順を「見て」わかる動画コンテンツをはじめ、児童の気づき、考えの変容を記録できる「マイめあて」「小課題」「生かす・深める」「ふり返り」などの記入カードを設けている。さらに、学びを広げ、深める各種資料PDF、さわって動かす「動作コンテンツ」も用意され、いずれも限られた授業時間を有効に生かすことを考え、精選されたコンテンツが収録されている。 | | | | | | | | |
| 3 | <p>組織・配列等 について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5学年では題材を区切って学習に取り組むことで、基礎・基本を着実に身に付けられるように構成にするとともに、6学年では既習を生かす構成にすることで、学んだことを実生活で活用する力を育むことができるよう工夫されている。 ・中学校家庭分野との系統性について、巻末に「2年間の学習を中学校につなげよう」にまとめて記載することで、関連を意識して学習することができるように配慮されている。 ・5年末に「できることからはじめて、持続可能な生活をつくる」を掲載することで、学習内容を振り返り、6年の学習に活用することができるように工夫されている。 ・家庭生活の内容において、5年社会科の学びを生かし、地域の人々との協力の視点で地域の一員としての関わりを深める例として防災が取り上げられている。また、実習中や自分の家、地域における災害対策について、具体的に留意点を示すことで、実生活を関連付けて考えることができるよう工夫されている。 ・巻末の「生活の中のプログラミング」では、家電製品のプログラミング例を示すとともに、フローチャートを用いて効率よくご飯とみそ汁をつくるためにプログラミングを考えることでプログラミング的思考が育成できるよう工夫されている。 ・ガスコンロやIHクッキングヒーターなど、多様な器具、用具を取扱することで、学校の施設・設備に応じた実習ができるよう配慮されている。また、巻末の「食生活に関わる調理器具や食器」において、家庭での普及率が高くなってきたIHクッキングヒーターの使い方や注意点を具体的に示すことにより、各家庭の実情に合わせた実践ができるよう工夫されている。 ・題材の最後に、児童自身が学習成果や学習内容を振り返ってチェックできるような「できたかな」コーナーを設け児童が主体的に学習に取り組んでいけるよう配慮されている。 ・各題材中に生活に関わる様々なキャリアの方からのキャリアインタビューコーナーを設け、キャリア教育に対応し多様な視点を養うために小学生へのメッセージを掲載するなど工夫されている。 ・巻末の折り返しに、実習や製作に必要な基礎的・基本的事項を掲載し、いつでも確認できるよう工夫されている。 ・カリキュラム・マネジメントの実現に向けて、教科等横断的視点で組み立てていくの一助となるもの、関連マークがある。各教科の学習内容と関連する箇所に関連マークを使って具体的に示し、既習事項を意識し、つなげて考えることができるよう配慮されている。また、他教科とのつながりを生かした例も紹介されている。 ・衣食住に関する文化についての特設ページが設けられ、生活に根差した文化を知るきっかけの一助になるように工夫している。 ・題材の最初のページに、その題材で意識する「生活にかかわる4つの見方・考え方」を掲載し、途中のページにも「見方・考え方」のかかれたクローバーの葉を持ったキャラクターが登場するなど、学習を進める中で見方・考え方を働かせていくことができるように工夫されている。 ・「生活の課題と実践」の取り組み方を5つのステップで示し、具体例をヒントに自分の「生活の課題と実践」に取り組みやすく工夫されている。 | | | | | | | | |

令和6年度使用小学校用教科用図書

調査研究資料

(報 告 書)

保 健

鹿沼市立小中学校教科用図書調査員会

| | | | | | | 種 目 | 保 健 |
|-----------------------------|----|---|----|----------------------|----|----------|---------|
| 教 科 用 図 書 の 記 号 ・ 番 号 ・ 名 称 | | | | | | | 発 行 者 名 |
| 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 東京書籍株式会社 | |
| | | 保健306 新編 新しいほけん3・4 | | 保健506 新編 新しい保健5・6 | | | |
| 観 点 | | 調 査 の 結 果 | | | | | |
| 1 内容について | | <p>「けんこうな生活」(3年)</p> <ul style="list-style-type: none"> 元気な生活を送る様子と元気がない生活を送る様子をイラストで対比させ、健康に過ごすには食事、運動、休養・睡眠等のバランスのとれた生活が大切であることが理解しやすい内容となっている。 手洗いや歯磨きなど基本的生活習慣についてチェック欄を設けて1日を振り返らせたり、「実験」コーナーで手に付いた菌の増加について写真で示したりして、健康によい生活の仕方を考えさせる内容となっている。 <p>「体の成長とわたし」(4年)</p> <ul style="list-style-type: none"> 幼児のくつ、手形の写真が実寸大で掲載されており、自分の成長がとらえやすいとともに、単元を通して意欲的に学習できるような工夫がされている。 身長伸びを確かめる活動では、児童が作業しやすいよう、例が掲載されている。 「思春期にあらわれる変化」について、年齢や男女の体つきの違いが写真やイラストで掲載されているため、変化の違いが児童にとってわかりやすい。また、キャラクターが話している言葉や本文でも個人差について配慮されている。 <p>「心の健康」(5年)</p> <ul style="list-style-type: none"> イラストと文章を組み合わせた資料を用いて児童の身近な生活場面を提示することにより、自身の生活をふり振り返りながら学習を理解できる内容となっている。 年齢と共に変化してきた「人の関わり」についてイラストで示され、幼少期と5年生の対応の仕方の違いを考えさせ、児童が主体的に心の発達についてとらえやすい流れとなっている。 心の健康を保つための生活や対処方法について、自分の生活をふり振り返りながら自分にとって効果がありそうな対処の方法を考えることで、不安や悩みへの対処の仕方の理解が深められるようになっている。 <p>「けがの防止」(5年)</p> <ul style="list-style-type: none"> 「学校生活における事故」「地域でのけが」「交通事故」等のイラストから事故が起こりそうな場面を見つける作業を通して話合いができ、けがや事故の発生原因や防止について理解できるようになっている。 けがや事故、犯罪被害のグラフが掲載されており、児童の事故防止への意識を高めることが期待できる。 けがの手当についてイラストと文章を効果的に提示することにより、手当の仕方が正しく理解できるようになっている。 <p>「病気の予防」(6年)</p> <ul style="list-style-type: none"> 病気の要因について大きく4つの項目に分けて示されており、病原体がどのように体に入ってくるのかが写真やイラストつきで解説されているため、児童にとって理解しやすい内容となっている。 喫煙を禁止する看板、飲酒運転を防ぐポスターを小単元の初めにのせてあり、児童がなぜいけないのかを考えながら学習できる展開となっている。 | | | | | |
| 2 程度・選択・取扱について | | <ul style="list-style-type: none"> 本時の学習課題が明確に示されているため、児童が主体的に学習に取り組めるようになっている。 学習内容に合わせて活用できる書き込み欄があり、児童が主体的に学習し、自分の考えを深めることができるよう工夫されている。 「解説」「まめちしき」のコーナーでは、児童が学習の理解を深めるための言葉の詳しい解説や補足情報が十分に示されている。 わかりやすいレイアウトや親しみやすい絵、写真を取り上げ、学習に意欲的、主体的に取り組めるように配慮されている。 発達段階に応じ、ポイントを明確にした理解しやすい図が使われている。 | | | | | |

3 組織・配列等
について

- ・適切な組織、配列となっている。各単元とも課題が明確になっていて、「気づく・見つける」「調べる・解決する」「深める・伝える」「まとめる・生かす」「学習をふり返ろう」など学習のしかたを明示して展開されているので、学習の見通しが立てやすくなっている。
- ・各単元の導入で他学年とのつながり、他教科とのつながりが示されている。

令和6年度使用（小学校）教科用図書調査研究報告書

| | | | | | | 種目 | 保健 |
|----------------|--|----------------------|----|---------------------|----|-----------|------|
| 教科用図書の記号・番号・名称 | | | | | | | 発行者名 |
| 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 大日本図書株式会社 | |
| | | 保健307 たのしいほけん3・4年 | | 保健507 たのしい保健5・6年 | | | |
| 観 点 | 調 査 の 結 果 | | | | | | |
| 1 内容について | <p>「毎日の生活とけんこう」（3年）</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の経験や考え、わかったことなどを記述させながらこれまでの生活について振り返らせ、自分の健康が様々な事柄と結びついていることを理解できる内容となっている。 <p>「育ちゆく体とわたし」（4年）</p> <ul style="list-style-type: none"> 男女の成長の仕方や個人差についてイラストやグラフで比較したり、児童の体験談などをのせたりして、理解しやすい内容になっている。 <p>「心の健康」（5年）</p> <ul style="list-style-type: none"> 様々な生活場面をイラストで示し、心のはたらきが日々の生活や人との関わりの中で発達することを理解しやすい内容になっている。 <p>「けがの防止」（5年）</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童にとって身近な生活場面をイラストや写真で示し、交通事故やけがの原因を理解し、けがの防止の仕方を考えながら学習できる内容になっている。 危険予測や安全な行動について考えたり話合ったりしながら記述することができ、思考を深めることができる内容になっている。 <p>「病気の予防」（6年）</p> <ul style="list-style-type: none"> 病気の予防の仕方について考えるために、自分の生活を振り返りながら、イラストを交えることでどのような生活をする必要があるのか理解しやすくなっている。 | | | | | | |
| 2 程度・選択・取扱について | <ul style="list-style-type: none"> 各単元の導入部分に、学習課題に合わせた学校生活等の場面が提示されており、児童が自分の生活をふり振り返りながら興味・関心が高まるよう工夫されている。 学習後に「もっと知りたい」という学習内容に関連した資料があり、さらに知識を深めることができるようになっている。 ウェブコンテンツのQRコードから各単元に関連する動画が視聴でき、児童の興味関心が高まるよう工夫されている。 | | | | | | |
| 3 組織・配列等について | <ul style="list-style-type: none"> 適切な組織、配列となっている。単位時間ごとの基本的な内容が見開き2ページまたは4ページに集約されており、見やすく、教師も進めやすい分量である。 心の健康を保つために、学習指導要領体育科A体づくりの運動の中の体ほぐしの運動を紹介している。（5・6年P18） 学習内容を補う資料や、実験内容、補足情報などの参考資料を含む、3・4年は45ページ、5・6年は69ページにまとめられている。 | | | | | | |

| 種目 | | | | | | 保健 |
|----------------|----|--|----|----------------------|----|---------------|
| 教科用図書の記号・番号・名称 | | | | | | 発行者名 |
| 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 株式会社 大修館書籍 |
| | | 保健308 新 小学校ほけん3・4年 | | 保健508 新 小学校保健5・6年 | | |
| 観 点 | | 調 査 の 結 果 | | | | |
| 1 内容について | | <p>「けんこうな生活」（3年）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「実験」コーナーを設け、手に付いた細菌の変化や、一日使用した下着やハンカチがどのように汚れるかを写真で示し、健康に過ごすためにはどのようなことが大切かを考えさせる内容となっている。 ・毎日を健康に過ごすために必要な部屋の明るさの調節や空気の入換えについて、写真で比較しながら考えさせ、健康に過ごすためには、身の回りの環境を整えることが大切であることが理解しやすい内容となっている。 <p>「体の成長とわたし」（4年）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身長伸びなどの体の発育について考える活動では、6人の身長伸び方を例に出し、人によって伸び方が違うことは自然であり、発育の仕方には個人差があることにも配慮されている。 ・「思春期にあられる変化」について、写真やイラストが多く、視覚的にイメージしながら理解しやすい内容となっている。 <p>「心の健康」（5年）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・心と体の関わりについて、イラストを中心とした資料を用いて生活場면을提示するなど、自身の生活を振り返りながら理解を深められる内容となっている。 ・不安や悩みへの対処についての学習では、実習の時間が位置付けられており、気持ちを楽にするための呼吸法や体ほぐしの運動を実践的に学ぶことができる。 <p>「けがの防止」（5年）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校や地域で起こりやすい事故や怪我の原因について話し合う場面が設定されており、対話を通して理解を深めることができるようになっている。 ・けがの種類にあった手当の仕方についてイラストを添えて提示しており、児童が分かりやすく理解できるようになっている。 <p>「病気の予防」（6年）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染症の予防について、病原体や感染経路をイラストや写真つきで解説しているため、理解しやすい内容となっている。 ・「たばこを吸う人への害」と「周りの人への害」の両面から喫煙の害について考え、理解を深めることができる内容となっている。 | | | | |
| 2 程度・選択・取扱について | | <ul style="list-style-type: none"> ・本時の課題が明確に示されているため、児童が主体的に学習に取り組めるようになっている。 ・単元の学習の後の「もっと学びを広げよう！深めよう！」という資料が充実しており、関連した知識を得たり、学びを深めたりすることができるようになっている。 ・分かりやすいレイアウトや豊富な写真とイラストなど、児童の興味関心を高める工夫がされている。 ・QRコードから「ほけんクイズ」に挑戦したり、関連動画を見たりすることができる、補助資料が充実している。 | | | | |
| 3 組織・配列等について | | <ul style="list-style-type: none"> ・適切な組織、配列となっている。 ・各単元とも課題が明確になっており、また、「調べよう」「話し合おう」「考えよう」など、学習の仕方を明示して展開されているので、学習の見通しが立てやすくなっている。 ・参考資料を含む、3・4年生は49ページ、5・6年生は73ページにまとめられている。 | | | | |

令和6年度使用（小学校）教科用図書調査研究報告書

| 教科用図書の記号・番号・名称 | | | | | | 種目 | 保健 | 発行者名 |
|----------------|--|-------------------------|----|------------------------|----|----|----|-------------|
| 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | | | 株式会社 文教社 |
| | | 保健309 新わたしたちのほけん3・4年 | | 保健509 新わたしたちの保健5・6年 | | | | |
| 観 点 | 調 査 の 結 果 | | | | | | | |
| 1 内容について | <p>「毎日の生活とけんこう」（3年）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「今の自分に当てはまるものに○をつけよう」など、簡単なチェック欄や表が多くあり、自分自身をふり返り、自分の課題として考えやすい内容になっている。 <p>「体の発育・発達」（4年）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・心と体の発育、発達について、その変化の様子や個人差についての体験談が多くあり、児童の不安を軽減する意味でも児童の立場にたった内容になっている。 <p>「心の健康」（5年）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・心は「感情」「社会性」「思考力」が関わり合っていること、様々な生活経験や学習を通して発達していくことが図やイラストで示されており、分かりやすい内容となっている。 ・「相談のしかた受け方」という内容が紹介されており、一人一人の児童の実践の手助けとなる内容となっている。 <p>「けがの防止」（5年）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・けがの原因は行動と環境が関わっていることと、安全に過ごすためにはどうしたらよいか豊富な資料やイラストをもとに示されている。けがに直面したときの対処の仕方もポイントがわかりやすくまとめられている。 <p>「病気の予防」（6年）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染症や生活習慣病、喫煙、飲酒、薬物乱用の害について、図や写真等の豊富な資料が示され、理解しやすい内容となっている。 | | | | | | | |
| 2 程度・選択・取扱について | <ul style="list-style-type: none"> ・簡単に記入できるチェック欄が多く設けてあり、児童が取り組みやすい構成になっている。 ・「もっとくわしく!」「もっと知りたい!」というコーナーがあり、身近な場面に即して考えることができるようになっている。 ・「発展」「情報コーナー」など、関連した発展的内容が分かりやすくまとまっている。 | | | | | | | |
| 3 組織・配列等について | <ul style="list-style-type: none"> ・単元の配列は適切であり、学習活動に①、②…という番号と「ふり返ってみよう」「考えてみよう」「調べてみよう」「話し合ってみよう」「新しい自分にレベルアップ」などの具体的な活動内容が示されていて学習に取り組みやすいようになっている。 ・イラストや写真等の資料が大きくゆとりをもって示されている。 | | | | | | | |
| 4 本書の特徴点について | <ul style="list-style-type: none"> ・学習の流れの明示はないが、その分シンプルで分かりやすい導入となっている。 ・脚注等に「ホームページにアクセス」とQRコードが示され、調べやすいつくりになっている。 ・発展の内容が他教科の内容と関連づけられており、相互に学習を深めることができる。 | | | | | | | |

令和6年度使用（小学校）教科用図書調査研究報告書

| | | | | | | 種目 | 保健 |
|----------------|---|----------------------|----|---------------------|----|--------------|------|
| 教科用図書の記号・番号・名称 | | | | | | | 発行者名 |
| 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 株式会社 光文書院 | |
| | | 保健 310 小学ほけん 3・4年 | | 保健 510 小学保健 5・6年 | | | |
| 観 点 | 調 査 の 結 果 | | | | | | |
| 1 内容について | <p>「けんこうな生活」(3年)</p> <ul style="list-style-type: none"> 健康的かつ衛生的な生活を送るためのポイントが明示されており、図やイラスト等の資料に基づいて考えていくことで望ましい生活習慣について学んでいける内容となっている。 <p>「体の発育と健康」(4年)</p> <ul style="list-style-type: none"> 男女の発達の仕方も含めて個人差があることや思春期の心身の変化を「体験談」等の資料を合わせて読むことで、体の発育・発達について不安を軽減しながら学ぶことができる内容となっている。 <p>「心の健康」(5年)</p> <ul style="list-style-type: none"> 心の発達には「感情」「社会性」「思考力」などと関わりあっていること、それらが様々な社会経験や学習から育まれていくことをおさえた内容になっている。 <p>「けがの防止」(5年)</p> <ul style="list-style-type: none"> 身近な生活場面の中から、事故やけがの原因となる要素、危険予測などについて考えていくという「予防」の観点から思考を深められる。また、けがなどに直面した時、どうすればよいかの判断の仕方や手当の方法が明確に示されている。 <p>「病気の予防」(6年)</p> <ul style="list-style-type: none"> 様々な感染症や生活習慣病、喫煙、飲酒、薬物乱用等の害から健康を守るためにどうすればよいかを一つ一つ学べるつくりとなっている。 | | | | | | |
| 2 程度・選択・取扱について | <ul style="list-style-type: none"> 単元の配列が適切であり、本時の学習課題が明確に示されているため、児童が主体的に学習に取り組めるようになっている。 学習後に「広げよう深めよう」という資料やコラムのページを参照することで、関連した知識を得たり、深めたりすることができるようになっている。 分かりやすいレイアウトや豊富な写真、親しみやすいイラストや導入部の漫画など、児童の興味関心を高める工夫がされている。 参考資料としてQRコードを読み取るものが示されているため、拡大資料として活用しやすい。 | | | | | | |
| 3 組織・配列等について | <ul style="list-style-type: none"> 「はじめに」で学ぶことと自分のこれまでの生活との関わりを考え、学習課題にふれた後、解決に向けて「調べよう、考えよう、やってみよう、話し合おう」という学習活動をし「生かそう伝えよう」で自分の生活につなげていくという構成となっている。 示されている資料を参考に記入していくことで無理なく学習していくことができる。 参考資料を含む、3・4年は41ページ、5・6年は65ページにまとめられている。 | | | | | | |

令和6年度使用（小学校）教科用図書調査研究報告書

| | | | | | | 種目 | 保健 |
|----------------|----|---|----|-----------------------|----|----------------|------|
| 教科用図書の記号・番号・名称 | | | | | | | 発行者名 |
| 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 株式会社 Gakken | |
| | | 保健311 新・みんなの保健3・4年 | | 保健511 新・みんなの保健5・6年 | | | |
| 観 点 | | 調 査 の 結 果 | | | | | |
| 1 内容について | | <p>「健康な生活」(3年)</p> <ul style="list-style-type: none"> 健康とはどんな状態のことをいうのかを学習した上で、自己の生活リズムや衛生的な生活についてチェックできる内容になっている。よりよい生活の仕方について考え、生活リズムの改善につなげることができる。 <p>「体の発育・発達」(4年)</p> <ul style="list-style-type: none"> 身長の変化の様子についてのイラストでは、6才から18才までの身長の伸びの様子が分かりやすいように、折れ線が入っており、個人差について理解しやすい内容となっている。 男女の体の中の変化やよりよい発育に関する写真やイラスト、グラフが適切に用いられており、生活につなげられる内容となっている。 <p>「心の健康」(5年)</p> <ul style="list-style-type: none"> 幼児期と比較した思春期の心の変化についてイラストを用いてわかりやすく説明している。また、心と体が密接に関わっていることを自分の生活を振り返って確認し、不安や悩みに対する対処法を豊富に掲載して体育の授業との関連も深めている。 <p>「けがの防止」(5年)</p> <ul style="list-style-type: none"> 事故についてのグラフや校内でのけがにつながった場面の話をもとに、事故やけがの原因について考えることができるようになっている。地域での事故やけがを防ぐための工夫や努力、行動の仕方について知り、地域の一員としてとれる行動についても考えることができる。 <p>「病気の予防」(6年)</p> <ul style="list-style-type: none"> 病原体によって起こる病気や生活の仕方によって起こる病気について、病気ごとに症状や起こり方を示しており、理解しやすい内容である。また、喫煙、飲酒、薬物による害については写真等を用いたより詳しい内容であり、児童の理解を深めるとともに、心に強くうったえる内容となっている。 | | | | | |
| 2 程度・選択・取扱について | | <ul style="list-style-type: none"> 単元の配列は適切であり、本時の学習課題が「ここで学ぶこと」として明確に示されているため、児童がめあてをもって主体的に学習に取り組めるようになっている。 発展のページが充実しており、児童が身近な問題として捉え、意欲的に学習に取り組めるよう工夫されている。 発達段階に合わせて、文字の大きさやイラストが配慮され、児童が理解しやすいよう工夫されている。 実習のページでは、心と体のバランスを保つためのストレッチなど、具体的な解決方法が身に付けられるようになっている。 | | | | | |
| 3 組織・配列等について | | <ul style="list-style-type: none"> 適切な組織、配列となっている。単位時間ごとの内容につながりがあり、学習をスムーズに進められる。 学習のまとめでは、「学習を振り返る」だけでなく、「学びを深める」「明日につなぐ」という欄が設けられており、これからの生活の改善を意識できるよう構成が工夫されている。 | | | | | |

令和6年度使用小学校用教科用図書

調査研究資料

(報 告 書)

英 語

鹿沼市立小中学校教科用図書調査員会

令和6年度使用（小学校）教科用図書調査研究報告書

| | | | | | | 種目 | 英語 |
|----------------|----|---|----|---|---|----------|----|
| 教科用図書の記号・番号・名称 | | | | | | 発行者名 | |
| 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 東京書籍株式会社 | |
| | | | | 英語509 NEW HORIZON Elementary English Course 5 | 英語609 NEW HORIZON Elementary English Course 6 | | |
| 観 点 | | 調 査 の 結 果 | | | | | |
| 1 内容について | | <ul style="list-style-type: none"> ・5領域アイコン（聞く・読む・話す（やりとり）・話す（発表）・書く）で、その時間にどんな活動を重点的に学ぶかが明確にされている。 ・中学年や中学校との接続も含めて、ピクチャーディクショナリーに5・6年を通じた学びを見通すことのできるCAN-DOリストを「CAN-DOの樹」として示し、明確な到達点に向かって学習を進められるようにしている。 ・育成を目指す資質・能力の3つの柱を適切に配置した、Starting Out, Your Turn, Enjoy Communication, Over the Horizonという各単元4パート構成で、学習内容の慣れ親しみから、知識・技能の習得、思考力・判断力・表現力などを働かせる活動へと段階を踏んだ構成になっている。 | | | | | |
| 2 程度・選択・取扱について | | <ul style="list-style-type: none"> ・程度については、児童の発達段階に応じて、第5学年では聞く活動、話す活動など音声を中心とした学習を行い、第6学年では、徐々に読む活動、書く活動を導入するなど、バランスが工夫されている。 ・題材の選択については、発達段階に沿って、身近なことから徐々に視野を広げられるように、第5学年では自分のこと、身近な地域のこと、そして日本のよさを発信する題材が選択されている。第6学年では、自分のこと、日本と世界とのつながり、そして中学校に向けて小学校の思い出や将来の夢についての題材となっている。 ・外国語の背景にある文化を理解するために、世界各国の様々な人種や題材を取り上げ、世界への視野を広げられるように工夫され、多文化共生、国際協力、生命の尊さ、豊かな情操と道徳心を培うように配慮されている。 ・2学年を通じてSDGsの17の目標に関連した題材を豊富に取り上げている。第6学年では、「生き物のためにできること」をテーマにするなど、動物や自然を保護する大切さに関する題材を取り扱っている。 | | | | | |
| 3 組織・配列等について | | <ul style="list-style-type: none"> ・1ページあたり1時間を基本とし、配当時間や年間指導計画が把握しやすい構成になっている。また、全単元見開き4パート構成で一貫されており、学習の流れを見通しやすくなっている。 ・5年生の冒頭や別冊で中学年の学習内容をまとめたページが設定してある。中学年で慣れ親しんだ学習内容に繰り返し触れられるようになっている。 ・文字の名前の定着や音への慣れ親しみを経て、最後に文を読むことに挑戦するという2学年を通じた構成は、読み書き指導でも中学校への効果的な接続が意識されている。 | | | | | |

令和6年度使用（小学校）教科用図書調査研究報告書

| 種目 | | | | | | 英語 |
|----------------|----|---|----|------------------------------|------------------------------|---------------|
| 教科用図書の記号・番号・名称 | | | | | | 発行者名 |
| 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 開隆堂出版 株式会社 |
| | | | | 英語511 Junior Sunshine5 | 英語611 Junior Sunshine6 | |
| 観 点 | | 調 査 の 結 果 | | | | |
| 1 内容について | | <ul style="list-style-type: none"> ・「英語を使いながら学ぶ」学習を実現するために、各単元において実際に英語を使用し、互いの考えや気持ちなどを伝え合う言語活動が豊富に用意されている。 ・音声で十分に慣れ親しんだ英語と文字を結びつける活動を行うLet's Listen and Readを用意しており、音声から文字への学習が円滑に接続できるように工夫されている。 ・各単元末に学習した言語材料を用いた読み物で、読む活動に取り組むStory Timeが用意されており、児童の読む力を育むことができるよう配慮されている。 ・別冊の「Word Book」を活用して、絵を手がかりに自分の考えや気持ちを伝える言葉を選ぶことができるよう工夫されている。 ・第5学年の話題は、日本を中心にし、第6学年は世界に範囲を広めて、お互いの伝統文化を知るようにすることで、自国文化や異文化への理解を深め、他国を尊重し、国際社会の発展へ寄与する態度を養えるよう工夫されている。 | | | | |
| 2 程度・選択・取扱について | | <ul style="list-style-type: none"> ・「Let's watch and think」では、子どもたちと同世代のキャラクターが成長する様子をストーリー仕立てで展開し、児童の関心を高める工夫がされている。 ・「Around the World」や「Our World」などで世界各国の文化や生活の紹介を紹介したり、音声と動画を使ったクイズなどを取り扱ったりすることで、多文化・異文化を理解し、自己を尊重する態度を養えるように工夫されている。 ・巻末にCAN-DOチェックがあり、振り返りの観点がわかりやすく表され、毎単元の終わりに自己評価を記録することで、子どもたち自身が「何ができるようになったか」を確かめ、自らの成長や課題に気づき、学習を調整する力や学習に見通しをもって主体的に取り組む態度を育てることにつながるよう工夫されている。 | | | | |
| 3 組織・配列等について | | <ul style="list-style-type: none"> ・もくじに各単元のGoalが示されており、1年間でどのような学習をするのか、どのような力を付けていくのかを見通すことができる。 ・すべての単元が8時間で構成されており、学習の流れに沿って見通しをもって学習ができるようになっている。 ・各単元の冒頭に単元のGoalと活動内容、見開きごとにめあてが示されており、見通しをもって学習に取り組むことができるようになっている。 ・外国語活動培った外国語によるコミュニケーションを図る素地を耕してコミュニケーションを図る基盤育成し、中学校での学びに円滑に接続できるよう、言語活動を通して資質能力を育成できるようになっている。 | | | | |

令和6年度使用（小学校）教科用図書調査研究報告書

| | | | | | | 種目 | 英語 |
|----------------|----|---|----|----------------------|----------------------|------|----|
| 教科用図書の記号・番号・名称 | | | | | | 発行者名 | |
| 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 三省堂 | |
| | | | | 英語513 CROWN Jr. 5 | 英語613 CROWN Jr. 6 | | |
| 観 点 | | 調 査 の 結 果 | | | | | |
| 1 内容について | | <ul style="list-style-type: none"> ・Unitの導入の扉ページで、Unitのゴールに沿った写真を見ながら、そのUnitで学習する内容についてイメージを膨らませられるように工夫されている。 ・日本および他国の文化、動物や自然、将来の職業など、児童の興味関心に広く訴える題材を取り上げ、広く知識を獲得するとともに、自ら考え表現することを通して豊かな心を育てるように配慮している。 ・伝統文化や地域の行事など、日本のよさを発見し、それらを発信する単元が用意されている。 ・キャリア教育につながるように将来の夢や憧れの人物を紹介する活動を扱い、未来を見据えて主体的に学び続ける心を育てるよう配慮している。 | | | | | |
| 2 程度・選択・取扱について | | <ul style="list-style-type: none"> ・語句や表現をスモールステップで段階を踏んで学習し、学期末にそれまでに学習したことを用いて目的や場面、状況に応じてアウトプットできるように工夫されている。 ・ABC Fun Boxは楽しみながら文字を読んだり書いたりして、2年間で系統的に文字に親しむことができる。 ・Story timeでは既習の表現を用いた楽しめる物語や、児童に親しみのある世界の物語を取り扱うことで、読む力や内容を推測しながら聞く力を育てよう工夫されている。 ・QRコードを利用して、音声や画像、映像などの情報にアクセスすることができ、自学自習や家庭学習など個別最適で多様な学びができるようになっている。 | | | | | |
| 3 組織・配列等について | | <ul style="list-style-type: none"> ・一年間に設定された3つの大きな言語活動に向かってどのように学びを積み重ねていくか「見える化」されている。また、そのまとまりがわかるように色分けがされている。 ・Unitの構成は、「HOP（学習の見通し）」「STEP（インプットとアウトプット）」「JUMP（自己表現）」の順で構成されている。 ・中学年から円滑な連携が図れるように、5年生冒頭では、外国語活動で経験してきた語句や表現を、活動を通して振り返る工夫がされている。中学校への円滑な連携が図れるようには、プロジェクト型の言語活動が工夫されている。 ・言語材料は、アウトプット前に十分にインプットできる構成になっている。また、既習の言語材料はスパイラルに何度も扱われており、自然と定着するような工夫になっている。 | | | | | |

| 種 目 | | | | | | 英語 | 発 行 者 名 |
|-----------------------------|---|----|----|-------------------------------|-------------------------------|--------------|---------|
| 教 科 用 図 書 の 記 号 ・ 番 号 ・ 名 称 | | | | | | 教育出版 株式会社 | |
| 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | | |
| | | | | 英語515 ONE WORLD Smiles5 | 英語615 ONE WORLD Smiles6 | | |
| 観 点 | 調 査 の 結 果 | | | | | | |
| 1 内容について | <p>・教科書への導入として、巻頭にWelcome to One WORLD Smilesを配置し、1年間の学びの見通しをもてるように工夫されている。</p> <p>・Lessonの冒頭で単元の目標を確認できるようになっており、さらに学習が終了した時点で自己評価ができるようになっている。「Lesson〇をふりかえろう」では、評価の3つの観点と対応した振り返り項目を示し、児童自身で評価できるように配慮されている。</p> <p>・My word bankとして、自己表現活動に役立つ語彙を巻末に掲載し、必要に応じて活用できるよう配慮されている。</p> <p>・資質・能力の3つの柱である「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間力等」を総合的に育成できるよう、さまざまな言語活動を盛り込み、児童一人一人の「生きる力」の育成に寄与し「主体的・対話的で深い学び」を実現できるよう工夫されている。</p> | | | | | | |
| 2 程度・選択・取扱について | <p>・題材内容については、児童の発達の段階や興味・関心に配慮し、クラス内での自己紹介から、学校や地域、国内から、海外へと学年や単元が進むにつれて徐々に視点が広がっていく構成になっている。</p> <p>・児童の発達段階に合わせて、5年生では日本全国の「名所・名物マップ」を使いながら、4年生で学習した都道府県についておすすめをしたり、6年生では世界各地の魅力的な行事や食べ物、自然や動植物が描かれた世界のマップを使って、行きたい国を伝え合ったりする活動を通して、英語を使って世界へ飛び出していく気持ちを育むように工夫されている。</p> <p>・5年生後半から少しずつ、自分の思いやアイデアを巻末のワークシートやICTを利用したデジタルのワークシートを用いて、「書いて表現する」活動が工夫されている。</p> | | | | | | |
| 3 組織・配列等について | <p>・単元ごとの大まかな流れが、映像を見て概要をとらえ、聞いて、慣れ親しむ活動から、徐々に表現活動へとつなげる構成に統一されるよう工夫されている。</p> <p>・単元の冒頭に単元目標を示し、単元末で目標に関連したやり取りや発表をする構成になっている。学習に見通しを立て、コミュニケーションの目的を意識しつつ、単元内の各活動を進めていけるように工夫されている。</p> <p>・文構造や基本的な表現を図るコミュニケーション活動を、段階を踏んで配列されている。各単元は、聞くことから始め、発話してみるやり取りを経て、適宜書いて整理したうえで、やり取り・発表する構成になっている。</p> | | | | | | |

| 教科用図書の記号・番号・名称 | | | | | | 種目 | 英語 | 発行者名 |
|----------------|----|--|----|------------------------|------------------------|----|----|----------------|
| 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | | | 光村図書出版 株式会社 |
| | | | | 英語 516 Here We Go!5 | 英語 616 Here We Go!5 | | | |
| 観 点 | | 調 査 の 結 果 | | | | | | |
| 1 内容について | | <ul style="list-style-type: none"> ・各UnitはHop!→Step1→Step2→Jump!という段階を踏んだ共通の構成になっており、基礎的な知識・技能の習得と活用から思考力・判断力・表現力を養う言語活動へといった学習の手順がわかりやすい。 ・各UnitのLet's try. やplus oneでは、児童の生活になじみのある話題でやり取りを続けることができるよう工夫されている。 ・相手意識を育む相づちなどの「Response」が多数掲載されていて、自然なコミュニケーションを続けるのに必要な語彙力を身につけられるよう工夫されている。 ・世界12か国の子ども達の生活の様子を継続的に取り上げるなどして、他国への関心を高め、その生活や文化を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うように配慮している。 | | | | | | |
| 2 程度・選択・取扱について | | <ul style="list-style-type: none"> ・児童の発達段階に合わせて、5年生では自分のことや住んでいる地域のことについて、ペアやグループでやり取りをしたり、発表したりする活動が取り扱われている。また、6年生では日本のことや世界のすることについて、ペアやグループで話す活動に加えて、一人でスピーチ発表する活動へ徐々に発展させるように配慮されている。 ・巻末のALL ABOUT Meに單元ごとに学習したことを記録していくことで、1年間で学習したことを振り返り、達成感を感じられるように工夫されている。 ・「You can do it!」では、年間3回学習したことを生かしてやり取りをする活動が取り扱われ、各テーマに沿って自分の考えを深めたり表現したりすることができるように工夫がされている。 | | | | | | |
| 3 組織・配列等について | | <ul style="list-style-type: none"> ・学習のテーマや目標がきちんと示されている5年・6年と段階的なテーマで構成されており、学習到達目標を示したページには、次学年の目標として6年生や中学校の目標が併記されているため、見通しがもちやすい。 ・教材が平易なものから段階的に難易度が高くなるよう配列され、全体で系統性が考えられている。 ・児童の生活や興味関心に即した教材配列になっている。 ・5・6年を通して教科書が一貫したストーリーになっている。 | | | | | | |

令和6年度使用（小学校）教科用図書調査研究報告書

| 教科用図書の記号・番号・名称 | | | | | | 発行者名 |
|----------------|----|---|----|----------------------|----------------------|------------------|
| 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 株式会社 新興出版社啓林館 |
| | | | | 英語 517 Blue Sky 5 | 英語 617 Blue Sky 6 | |
| 観 点 | | 調 査 の 結 果 | | | | |
| 1 内容について | | <ul style="list-style-type: none"> ・Unitのゴールに加えて、各Stepのめあてが示されており、児童自身が身につけるべきことを意識して取り組めるよう配慮されている。 ・Watch and Sceneとして、言語材料の使用場面や、児童が目指すゴールのイメージを、アニメーションで提示する配慮がされている。 ・学年の初めに、発表の場面ややりとりの場面で、どのように工夫して話すかを考えるページがあり、パフォーマンステストの評価の観点としても活用できるよう配慮されている。 ・学習指導要領で示された目標を達成できるよう内容を精選し、児童が学年内・学年間の既習内容を生かしながらスパイラルに学習できるように工夫されている。 | | | | |
| 2 程度・選択・取扱について | | <ul style="list-style-type: none"> ・「Let's Read and Write」では、音声を聞いて、音に注意しながら単語を聞くなど、音声と言葉を関連付けるよう工夫されている。 ・年に3回設定されている「Challenge」では、発展的な学習として、掲示物、広告、グラフなどから必要な情報を読み取る活動が設定されている。 ・映像やイラスト、写真を使って導入 (Pre Unit) がされており、はじめに外国語活動で学習した語句や表現に再度触れるようになっているため、児童が抵抗なく外国語の学習に取り組みやすく工夫されている。 ・付録シートで「会話を楽しむフレーズ集」が掲載され、やりとりを深める工夫がされている。 | | | | |
| 3 組織・配列等について | | <ul style="list-style-type: none"> ・5・6年生の全て分野で聞く活動が基盤になっている。各Unitに3つのStepが設けられており、「聞く・話す」繰り返しながら、スモールステップで積み上げていくことができるような流れになっている。 ・5年後半か6年生、中学校に向けて、徐々に読んだり書いたりする機会が増えていき、スムーズにつながるような配列となっている。 ・Unitの最後の「Did you know?」では、単元に関係した話題について、様々な国や文化について触れる機会も設けられており、児童の国際理解教育にも結び付くような流れになっている。 | | | | |

令和6年度使用小学校用教科用図書

調査研究資料

(報 告 書)

道 徳

鹿沼市立小中学校教科用図書調査員会

0 令和6年度使用（小学校）教科用図書調査研究報告書

| 教科用図書の記号・番号・名称 | | | | | | 種目 | 道徳 |
|---------------------------|--------------------------|---|--------------------------|------------------------|------------------------|----------|----|
| 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 発行者名 | |
| 道徳112 新編あたらしい どうとく1 | 道徳212 新編 新しい どうとく2 | 道徳312 新編 新しい どうとく3 | 道徳412 新編 新しい どうとく4 | 道徳512 新編 新しい 道徳5 | 道徳612 新編 新しい 道徳6 | 東京書籍株式会社 | |
| 観 点 | | 調 査 の 結 果 | | | | | |
| 1 内容について | | <ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領に示されていた道徳教育の目標に基づいた道徳の授業が行えるよう、教材が適切に選定、配列されている。 ・児童が道徳的価値観を形成する上で必要な、学習指導要領に示されている全ての内容項目を、6学年でもれなく取り扱っている。 ・自分との関わりで考えを深めることができるように、自己を見つめる発問の掲載や自己を見つめる際の考え方が例示されている。 ・登場人物の気持ちを深く考えられる、確かな定番教材が充実しており、心情を捉えやすいよう挿絵も工夫されている。 ・道徳科で扱う「教材」を要として、他教科等の学習活動や家庭での活動を示唆するコラム「つながる・広がる」を組み合わせ、現代的な課題に取り組む5つのユニット〈いじめ（人間関係）〉〈いのち（生命の尊厳）〉〈じぶん（自己肯定感）〉〈情報モラル〉〈安心・安全（防災・安全）〉が全ての学年に設定されている。 ・冒頭は情報量を減らし、先入観なく教材を読むことができるシンプルな導入を取り入れているため、クラスの様子に応じた授業展開ができる。 | | | | | |
| 2 程度・選択・取扱について | | <ul style="list-style-type: none"> ・各学年で重点指導内容項目を設定し、繰り返し学習することで学習を深められるよう工夫されている。 ・その教材で「みんなで考えたいこと」が示されており、学習への投げかけにより子どもの問題意識を喚起し「主体的な学び」を支援することができる。 ・カラーユニバーサルデザインへの配慮から、表現が工夫されている。全教材に付いた二次元コードから、朗読音声やスライドショー（紙芝居）が視聴でき、教材の読字に困難さのある児童の教材理解に配慮されている。また、人物教材や現代的な課題が題材の教材には、二次元コードから、教材の理解を支援する動画を視聴することができる。 ・絵や写真を使い、道徳の授業を楽しむ低学年、身近な教材文で価値の理解を深める中学年、多様な資料から自分の生き方について考える高学年と、6年間を通して道徳性を養うことができるよう、教材の内容や形式が選択されている。 | | | | | |
| 3 組織・配列等について | | <ul style="list-style-type: none"> ・各学年とも、「道徳の学習を始めよう」、「本編教材」、「つながる・広がる」「付録」の4つから構成されており、教科書全体を通じて道徳性を養えるように配慮されている。 ・教材に追従するコラム「つながる・広がる」に各教科等との関連が明示されている。 ・1年生では、幼児期の教育との接続に配慮した「どうとくスタート」が設定されており、6年生後半では、中等教育への円滑な接続に配慮した「自己の生き方について考える教材」等が設定されている。 | | | | | |

令和6年度使用（小学校）教科用図書調査研究報告書

| | | | | | | 種目 | 特別な教科道徳 |
|-------------------|---|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|------|---------|
| 教科用図書の記号・番号・名称 | | | | | | 発行者名 | |
| 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 教育出版 | |
| 道徳113 はばたこうあすへ | 道徳213 はばたこう明日へ | 道徳313 はばたこう明日へ | 道徳413 はばたこう明日へ | 道徳513 はばたこう明日へ | 道徳613 はばたこう明日へ | | |
| 観 点 | 調 査 の 結 果 | | | | | | |
| 1 内容について | <ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領の趣旨に即して、学年の発達段階に合わせて内容項目の四つの視点が適切に取り扱われ、分かりやすく工夫されている。 ・今日的な課題に向き合える多様な教材を取り入れ、身近な話題を取り上げることで、自分自身の問題として考えを深められるよう配慮されている。 (体験的な学習の教材、情報モラル教材、いじめを許さない心を作る教材、現代的な課題と向き合える教材) ・全学年の教科書巻頭の道徳開きで学習の流れがイメージできるようになっており、主体的な学びにつながるよう工夫されている。 | | | | | | |
| 2 程度・選択・取扱について | <ul style="list-style-type: none"> ・発達段階に応じた、様々なジャンルから教材を厳選し、児童が関心をもって学習に取り組めるような配慮がされている。(イラストから学ぶ教材、マンガ形式の教材、定番教材、人物教材) ・考え、議論する道徳(主体的、対話的で深い学び)の授業実現に向けての工夫がされている。(「学習の手引き」、多種多様な考えを引き出す教材の工夫) ・導入やまとめの場面で、キャラクターが身近に感じられる言葉で学びをナビゲートしており、関心や意欲を高めながら学べるよう配慮されている。 ・言語活動や問題解決的な学習が展開できるような「学びの手引き」や、体験的な学習を取り入れた「やってみよう」というページが設定され、充実した学習が展開できるよう工夫されている。 | | | | | | |
| 3 組織・配列等について | <ul style="list-style-type: none"> ・ゆとりのある分量の構成となっている。どの内容項目もバランスよく取り上げられており、重点項目を計画的に指導できるように配慮されている。 ・各学年で同一主題ごとに資料がまとめられており、多面的・多角的に考えられるように配慮されている。 ・児童の成長を見取りやすい教材の配列がされており、重点テーマはユニットで考えを深められるようになっている。 ・日常生活や各教科等でさらに理解が深まるよう、他教科等との関連を図ることができるよう配慮されている。 | | | | | | |

| 種目 | | | | | | 特別な教科 道徳 |
|--------------------------|--|--------------------------|------------------------|------------------------|------------------------|------------|
| 教科用図書の記号・番号・名称 | | | | | | 発行者名 |
| 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 光村図書出版株式会社 |
| 道徳114どうとく1「きみがいちばんひかるとき」 | 道徳214どうとく2「きみがいちばんひかるとき」 | 道徳314どうとく3「きみがいちばんひかるとき」 | 道徳414道徳4「きみがいちばんひかるとき」 | 道徳514道徳5「きみがいちばんひかるとき」 | 道徳614道徳6「きみがいちばんひかるとき」 | |
| 観 点 | 調 査 の 結 果 | | | | | |
| 1. 内容について | <ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領の趣旨に即して、学年の発達段階に合わせて内容項目の四つの視点が適切に取り扱われている。 ・「いじめ問題」「情報モラル」「環境」「共生」等の現代的な課題については、「よびかけ+教材+コラム」を組み合わせた「ユニット」が設定され、道徳の学びがつながるように構成されている。また、持続可能な開発目標（SDGs）につながるテーマもある。 ・教科書の冒頭には、生き方をよりよくしてくれるヒント「道徳で学ぶ20のとびら」と1年間の学びを見通す「道徳道案内」が設けられ、道徳の時間に何を学ぶのか、授業で何を学んでいるのかがわかりやすく提示されている。また、巻末には1時間ごとの振り返りが書き込める学びの記録が折り込みであり、1年間の自分の学びが見渡せるようになっている。 ・実践が積み重ねられてきた定番の読み物教材が充実しているだけでなく、コラムや話し合う教材、写真などから考える教材など、子供たちが広い視野でさまざまな話題に触れられるように教材が工夫されている。また、やさしいタッチの挿絵が多く、文字のフォントも見やすく読みやすい。 ・QRコードを用いたコンテンツが充実しており、児童がタブレットを使って、教材に関連した資料や映像、動画などにアクセスすることができ、より具体的な情報を得られることから学びを深めることができる。 | | | | | |
| 2. 程度・選択・取扱について | <ul style="list-style-type: none"> ・読み物教材だけでなく、視覚的に児童の興味・関心を喚起する漫画形式の教材、見開きの一枚絵や写真からなる教材など、多様な教材が位置づけられており、発達段階に合わせて、児童が教材に引き込まれ、自ら考えようとするための十分な配慮がされている。 ・「考えるヒント」という項目で学年に合わせて自分の考えを表現する方法や気持ちを表す言葉などをわかりやすく伝え、児童自身が自ら考えを引き出す手立てが理解できるようになっている。 ・各学年の児童の発達の段階や特性を考慮した教材選定が行われており、等身大の児童が登場する読み物、伝記などで知られる先人や、現在活躍する著名人の子供の頃の葛藤など、児童の心をとらえる教材がバランスよく配置されている。 ・「考えよう・話し合おう」には、問題を明らかにする問い・道徳的価値についての理解や自覚を深める問い・じぶんに引きつける、テーマ的に考える問いが示されており、教材を通して学んだことを自分に置き換えて考えたり、問題解決するために話し合ったりできるように配慮されている。 ・教材の内容の他、書体、挿絵の工夫など、発達段階や学びの実態、配慮を要する児童にも | | | | | |
| 3. 組織・配列等について | <ul style="list-style-type: none"> ・学校生活の実態や児童の1年間の成長を考慮し、全学年年間を「より良い人間関係」「社会とのかかわり」「個性の伸長」の3つの大きなまとまりに分けて構成されている。 ・現代的な課題について考えることができる教材とコラムを合わせた「ユニット」を組み、系統的な指導を通して、物事を多面的・多角的に考え、深めることができるよう工夫されている。 ・発達の段階と教材に合わせて、問題解決的な学習、道徳的行為に関する体験的な学習を織り交ぜながら、道徳的な価値の自覚を深められるよう工夫されている。 ・他教科等との関連が巻末に示され、関連を意識して授業が行えるように工夫されている。教材末に「つなげよう」の欄があり、そこに提示された教科マークから、どんな教科と関連があるのか、子供たち自身がわかるよう工夫されている。 | | | | | |

令和6年度使用 (小 学 校) 教科用図書調査研究報告書

| | | | | | | 種 目 | 特別な教科道徳 |
|--|--|---|--|--|--|--------|---------|
| 教科用図書の記号・番号・名称 | | | | | | 発行者名 | |
| 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 日本文教出版 | |
| 道徳115・116 しょうがくどうとく いきるちから1 しょうがくどうとく いきるちから1 どうとくノート | 道徳215・216 小学どうとく 生きる力 2 小学どうとく 生きる力 2 どうとくノート | 道徳315・316 6 小学どうとく 生きる力 3 小学どうとく 生きる力 3 どうとくノート | 道徳415・416 小学どうとく 生きる力 4 小学どうとく 生きる力 4 どうとくノート | 道徳515・516 小学道徳 生きる力 5 小学道徳 生きる力 5 道徳ノート | 道徳615・616 小学道徳 生きる力 6 小学道徳 生きる力 6 道徳ノート | | |
| 観 点 | 調 査 の 結 果 | | | | | | |
| 1 内容について | <ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領の趣旨に即して、学年の発達段階をふまえながら、家庭・学校・社会の幅広い分野の物が、内容項目の四つの視点に合わせて、バランスよく取り扱われている。 ・人権尊重の観点から「いじめ問題」については、複数教材とコラムを組み合わせた「ユニット」が設定され、集中的に考えられるようになっている。「多様性」「情報モラル」や持続可能な開発目標（SDGs）につながるテーマも配置され、様々な視点から、道徳の学びがつながるように構成されている。 ・教科書の冒頭のオリエンテーションでは、「道徳のとびら」では、学習内容やそのねらいなどを端的に示し、道徳的価値についての理解の仕方を分かりやすく説明している。また、各教材の冒頭にキーワードを明示して、児童が道徳的価値と照らし合わせて、理解を深められるようになっている。 ・実践が積み重ねられてきた定番の読み物教材が充実しているだけでなく、コラムや話し合う教材、写真などから考える教材など、主題がより多面的、多角的に考えることができるよう工夫されている。 ・QRコードを用いたコンテンツが充実しており、児童のタブレットを使って、教材に関連した資料や映像などを閲覧することにより、児童が興味関心を高めながら学習を進められるように配慮されている。 ・自由に活用できる「道徳ノート」が付属されており、思考を深め、学びを記録、振り返ることができる。 | | | | | | |
| 2 程度・選択・取扱について | <ul style="list-style-type: none"> ・文学作品、スポーツ選手、芸術家など幅広いテーマで多様な教材が取り上げられているとともに、児童の身近な生活場面も取り上げ、児童の興味関心を持続させる工夫がされている。 ・発達の段階と教材に合わせて、問題解決的な学習、道徳的行為に関する体験的な学習を織り交ぜながら、問題をつかむ活動や考える活動を促す発問が示されており、主体的・対話的な学びを行いながら、道徳的な価値の自覚を深められるよう工夫されている。 ・特別支援教育への配慮やカラーユニバーサルデザインの観点から、多くの児童が見やすいレイアウトや挿し絵などが工夫されている。 | | | | | | |
| 3 組織・配列等について | <ul style="list-style-type: none"> ・学年ごとに児童や学級の実情をふまえ、1学期には、学級づくりや集団生活の充実（低学年）より良い人間関係の充実（高学年）を設定してから学習を進め、3学期には振り返りや深化、発展を遂げられるよう、内容項目や教材が配置されている。 ・学習指導要領の内容項目が過不足なくおさえられ、重点項目に関しては、複数の教材が組織されている。また、各教材には内容項目を児童向けの言葉にした「キーワード」と導入の発問が示されているので、児童が見通しをもって学習できるようになっている。 ・他教科等との関連を図るだけでなく、他教科の学習活動そのものを素材とした教材が開発され、児童が効果的に学ぶことができるようになっている。また、「ぐっと深める」には特別活動等での多様な実践活動を生かした学習の展開例が記されており、児童の体験から学びが深められるような工夫がされている。 | | | | | | |

令和6年度使用（小学校）教科用図書調査研究報告書

| 教科用図書の記号・番号・名称 | | | | | | 種目 | 特別の教科 道徳 |
|---|---|--------------------------------|--------------------------------|------------------------------|------------------------------|--------------|----------|
| 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 発行者名 | |
| 道徳117 しょうがくど うとく ゆたかなこ ころ 1年 | 道徳217 小学どうとく ゆたかなこ ころ 2年 | 道徳317 小学どうとく ゆたかな心 3年 | 道徳417 小学どうとく ゆたかな心 4年 | 道徳517 小学道徳 ゆたかな心 5年 | 道徳617 小学道徳 ゆたかな心 6年 | 株式会社 光文書院 | |
| 観 点 | 調 査 の 結 果 | | | | | | |
| 1 内容について | <ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領に準じた内容項目ABCDが網羅されている。さらに、教科書にもどの内容項目なのか分かりやすくなっている。生活の中での身近な場面を取り上げた教材が多く、自己の経験を振り返ったり、自己投影しながら考えたりしやすい教材が工夫されている。 ・40教材とそのほか関連資料があり、選択して学習を行うことができるようになっている。 ・各学年3つ、特に考えさせたい内容を重点主題としており、複数時間構成になっていて、子供たちが多面的・多角的に深く考えられるように工夫されている。 ・いじめ問題や情報モラルなど現代的な課題についても取り上げられており、教材として子供たちの発達段階に応じたものとなっていて、分かりやすい。 ・左段にポイントが吹き出しで示されており、一人一人が自分に置きかえて考えたり、みんなとの話し合いにつなげたりすることができるように配慮されている。 | | | | | | |
| 2 程度・選択・ 取扱について | <ul style="list-style-type: none"> ・各学年の重点主題教材があり、発達段階に応じた主題がある。命の尊さについては、全学年で重点化が図られている。 ・巻末に「まなびのあしあと」というカードが設置されており、各学年においては内容量、デザインともに書きやすくなっている。 ・授業者が基本的な学習の流れがつかみやすく、子供たちにとっても興味をもてる絵や文量で読みやすい。 | | | | | | |
| 3 組織・配列等 について | <ul style="list-style-type: none"> ・教材の内容が分かりやすく、かつ考える時間を十分に取れるよう、発達段階に応じて学年ごとの教材の分量に配慮されている。 ・学習時期と教材内容の季節が一致するように教材の順番を設定することで、子供が自分ごととして教材を捉えやすいように配慮している。 ・栃木県に関する教材があり、身近な教材を通して児童の関心を引き出せるよう配慮されている。 ・前学年までの漢字を使用し、第1学年から第3学年には総ふりがなにする等読みやすくなるよう配慮している。 | | | | | | |

令和6年度使用（小学校）教科用図書調査研究報告書

| | | | | | | 種目 | 特別の教科 道徳 |
|--------------------------|--|-------------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------|----------|
| 教科用図書の記号・番号・名称 | | | | | | 発行者名 | |
| 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 株式会社 学研教育みらい | |
| 道徳118 みんなのどうとく 1ねん | 道徳218 みんなのどうとく 2年 | 道徳318 みんなのどうとく 3年 | 道徳418 みんなの道徳 4年 | 道徳518 みんなの道徳 5年 | 道徳618 みんなの道徳 6年 | | |
| 観 点 | 調 査 の 結 果 | | | | | | |
| 1 内容について | <ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領の趣旨に即して、学年の発達段階に合わせて内容項目の四つの視点が適切に取り扱われている。 ・現代的な課題（情報モラル、いじめ等）もしっかりと取り上げられている。 ・異なる複数意見を取り上げて、多面的・多角的に考えさせたり、「考えよう」で、児童が考えを深め、自己を見つめられたりするよう配慮されている。 ・4つの視点マークがあり、学習指導要領の視点が分かりやすいようにマークされている。 ・教材を生かした授業ができるように、スムーズな導入を実現するキープレーズが配置されている。 ・教材への関心をかきたてる投げかけをタイトルの下に書いてあることで意欲をもって授業に入れる。 ・QRコードがあり、画像が見られる。 | | | | | | |
| 2 程度・選択・取扱について | <ul style="list-style-type: none"> ・発達段階に応じて、児童が興味・関心をもちやすい魅力ある教材を選択配列し、児童の学習意欲を高め、理解を促すよう工夫されている。 ・発達段階に応じた学び方が紹介されており、授業の見通しを持たせることができるように工夫されている。 ・児童に馴染みのある人物や地域教材が取り上げられ、児童の興味関心が高まるよう配慮されている。 ・「深めよう」、「こころのパスポート」のページなど、自分の考えを記述する欄が設けられており、興味関心を高めながら言語活動が行われるよう配慮されている。 | | | | | | |
| 3 組織・配列等について | <ul style="list-style-type: none"> ・各学年の重点項目を内容項目の四つの視点の中に、適切に配置している。 ・全学年において「いのちの教育」をテーマに連続した教材三点の複数時間の扱いにより、「生命の尊さ」を多面的に考える授業が可能な構成になっている。 ・ゆとりのある分量である。 ・文字は大きく、全ての児童にとって読み違いを起こしにくいユニバーサルデザインフォントを使用し、カラーユニバーサルデザインに配慮されている。 ・学年で学習する漢字や固有名詞にふりがなをつけるなど、漢字の学習状況にかかわらず、読み進めることができるように配慮している。 ・全学年の表紙に掲載されている主人公が教材にも登場し、その人物に自らの成長を重ねながら、教材に向き合うことができるよう配慮されている。 ・写真や挿絵も児童の興味関心を引くものとなっている。 | | | | | | |